



マツダ新報第十九卷第五號(昭和七年五月號)目次

建築・コンボジション・照明(下)

東京高等工藝學校
講師 藏田周忠

藏田周忠 (二)

輝く我社の光榮 賀陽宮殿下台臨遊ばさる

從量電燈一箇當り平均ワット數に關する調査

特殊電球に就て

夜のスポーツ(其三)

コロラマ照明と電球

昭和六年博覽會一束(下)

ニュース

照明

製品

照明學校

雜報

海外

土產物の九宮島

編輯後記に代へて

東京電燈株式會社 笹森建三 (八)

東京電氣株式會社 事業部電球課 木村銀之助 (一二)

東京電氣株式會社 事業部照明課 土居巖井 (一六)

東京電氣株式會社 事業部照明課 關重廣 (二一)

東京電氣株式會社 事業部電球課 赤堀彌作 (二二)

編輯部 (二六)

照明 (二六)

製品 (二七)

照明學校 (二八)

雜報 (二九)

海外 (三一)

藤澤清造 (三六)

(四〇)

建築・コンポジション・照明(下)

第十回 照明講習會講演

東京高等工藝學校
講師

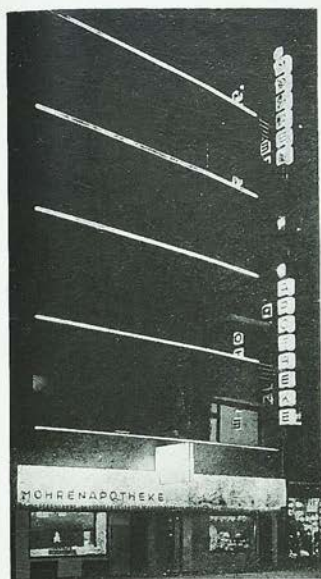
藏

田

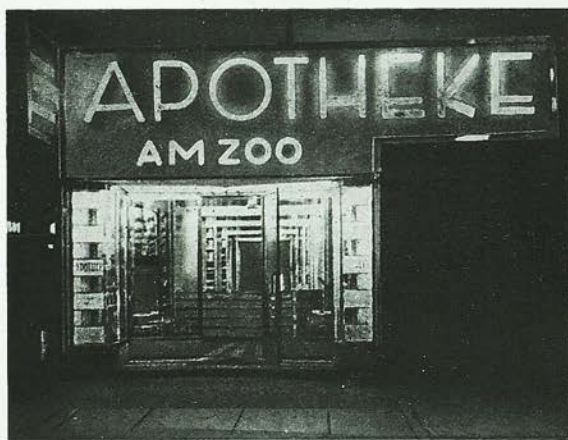
周

忠

所が現在では、先刻からお話しましたやうな自由な考へ方で、パイが出て居る方が面白いといふ人の方が多くなつて居る。是は寧ろ専門家なんかよりも素人の方が理解が早い。此の間も日本間にパイを出した方が宜いぢやないかと言はれて驚いたことがありますが、日本間へラヂエーターをつけやうといふ考、而も其のラヂエーターのパイプを外へ出して置かう。其の方が能率が好いし、パイプの線は少しも見苦しくないから、外へ付けて欲しいといはれたのです。是は素人の考ですが、寧ろ吾々の方が驚いたのです。パイプを幾個所か無理に曲けてロスを作るよりも、パイプを或る程度ま



第三圖 ラレスラウの藥品店の
サイン 青い線と白い量の平衡



第四圖 ベルリンの藥品店のサイン 店内の明る
さとネオンの効果

るからでせうが、それを平氣で美しいものに認められるやうになるのが合理的です。それには何故是が美しいかといふことを専門の人が出来るだけ説明する必要があると思います。さうして其の説明する一番の基礎になるものは、現在の世の中では、經濟問題に行くより仕様がなれないと思ひます。安くて宜しうございますから、安くて一番能率の良いやり方をした方が宜い。併

で真直ぐに目的の所へ引張つて湯の運行を好くした方が宜しい、パイだつて短くて済みます。さういふ考へ方が可なり強く働いて居

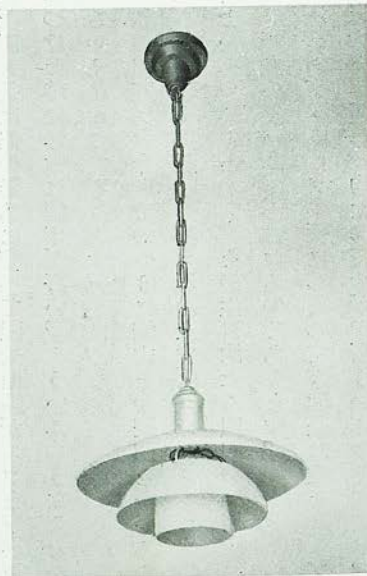
ます。もそれが合理的で正しいものならば美しいといふこと、それを専門家にもう少し一般の方に向つて説明して貰はなければならぬと思ひます。コンポジションのことにもう一度お話を展しますが、コンポジシ

ヨンといふのは、先からお話しましたやうに、抽象的ではありませんが、要するに空間に物を配置する重力關係、さういつたやうなものを基本に考へて戴けば宜いと思ふのです。重力の平衡する關係です。例へば右の方に圓い物を置いて、左の方に小さい玉を置いた場合、小さい玉が右の圓と同一面であると平衡しませんが、右が圓板なら、左は立體的な小さな玉にする。更に右の圓板が柔かい面なら、左の玉は金屬か何か質の強いもので平衡させるといふやうな關係であります。

あらゆる空間を構成する場合或は空間——室とか建築とかに附加する場合にいつもさういふことを主に考へて戴きたいのです。ガンディンスキーはその代表的な例になるのですが、同氏が壁畫のコンボジションに就いて言ふ時には、先づ重心をどこに置くかといふことを考へなければいかぬと言ふのです。近頃流行の寫眞のモンタージュでも、それから市中では色々な廣告燈を御覽になること、思ひますが、それなんかにしても、色と量（マッス）との關係を考へて戴くといふことがコンボジションの重要な點でありまして、此のネオンの（圖3）量の關係は建築全體の量の上でどういふ關係にあるかといふこと。前述の圓板と玉と例に簡約しました量の分布と平衡關係を考へていたゞくと、現今の銀座のやうな、ネオンオンパレードはもつとずつと藝術的に効果的になるのであります。

特に室内の仕上げに於ては照明器具といふものが極めて重要な役目をするのでありますから、其のことを照明専門の方は十分に了解して居つてやつて戴かないと、室内のコンボジションの統一といふものが壊れてしまひます。

此の室内の造型的效果が壊れるといふことで先刻の新しい建築との關聯になりますが、新しい照明器具は出来るだけ能率を良くして色々な細かい細工をなくすることに向つてをります。之を批評してはこの學校に悪いのですが、非常に此の室に懸つて居る燈具は重い

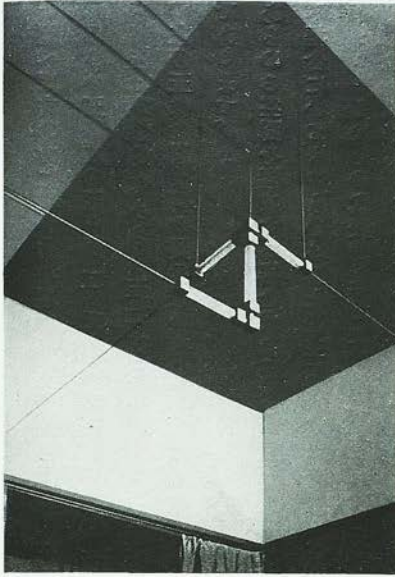


第五圖 獨逸製の照明器具

です。頭の上から落ちて來ると痛いなと感ずる。重い。詰り發光源の能率に對して重量を平衡させて少しどつしりした感じにするといふ考でせうが、硝子の面に對して黒い二つの面が非常に大きい。このことは直ちに實際の經驗と結びつくことでありまして、是だけの硝子と金具を吊つて行くのにあれだけの重い座鐵は必要がなさうだといふことが直ぐに考へられます。昔は形が好いといふので良かったのでせうし、設計された方に甚だ濟まんのですが、今はさういふ考へ方が直ぐに働く。ルナチャルスキーなどは生理的な基礎から美學を考へて、生理的な解釋を唱へて居りますが、丁度人間の身體の感覺を對象物に當てはめて考へるのです。例へば天井にしてもこれは重く感じるでしょう——鐵筋コンクリートですから宜いです

が、木造だつたら危い。さういふやうな重いとか、落ちて來たら痛いとか、斯ういう考が直ぐ働くやうに今の人はなつて居る。それよりも配光曲線の極めて形の良い、硝子製の輕快な器具を使ふ方が吾々としては一番馴染みが宜い。

此の頃では建築家の方にも、電氣の方の専門の御研究が大分作用して、多少建築家の方でも配光曲線とか、色々なことを覺えて言つて居りますが、さういふやうな科學的な研究が極めて樂に受入れられるやうに今の人間は出來て居る。ですから、是は形も綺麗ですし、飾りが手が込んで居つて其の割合にお安うございますといふよりも、形態は簡單明瞭であつて、それには斯ういふ硝子を使つて居り、此の硝子がどういふ科學的の性質で優れて居り、それに電氣を點けた時にどういふ配光曲線が出て、是は昔のものに較べてどれだ



第六圖 グロビウス教授考案の照明構成

け進んだものであるかといふことを、サイエントフィツクに證明した方が餘程受入れ易いのです。それには直ぐに賛成することが出

來るだけに、日本人は教養が出來てきてをります。

今こゝに(圖5)のやうなランプがあります。是は獨逸で作られたものですが、似たやうな型を島田硝子製作所で今賣出して居るやうです。是れなんかは硝子の皿を三つ重ねただけで、殆ど金具といふものはない位のものです。金具なんかの模様とかモールドイングとかいふものに餘り重きを置いてゐません。寧ろ積極的にそれを殆どなくして、しかも能率本位であり、且つ同時に美しいといふ事ならば少くとも若い者の間には行互つて居る筈であります。今後は益々さういふ傾向になるだらうと思ふのであります。

事實吾々は感じの好いものと思つてゐるのであります。何故好いかと申しますと、先づ無駄が何もなくて好い。硝子だけで清潔で好い。而も是は他の器具に較べて配光曲線がズツと下へ下つて、天井へつけた時に非常に能率が好い。さういふやうなことを一番問題にするやうになつてをります。

結局問題は、今までのやうに様式とか裝飾とかいふことで拘束されることなく、照明器具も形の上ではコンポジションの一要素と見てよいといふことから、その主目的たる照明の「用」に最も適するものが良いといふことになるのであります。

チューブ・ランプの例にしましても、是は唯チューブ・ランプを五本方々へ通した物なのですが、斯ういふやうなのは、やはり何の様式といふことでなしに、一つのチューブ・ランプと、それに必要な所のチューブとを組合せたコンポジションと見ればよいのであります。其のコンポジションの一番簡單なのが一番美しいことになつて。その反對に複雑な例は今年(昭和六年)の帝展などに行つて御

覽になれば分ります。

配線なんかの時にコンポジションといふものを餘程了解して貰ふと、線が見える時などは、それが造型的に生きてくるものです。

今の『パウハウス』が、ワイマールにあつた頃の校長室のチューブ・ランプをつけた例を御覽に入れませう。是はチューブ・ランプの交互の配列、その線とを效果的に使つて居ります。其の使ひ方が極めて有機的のコンポジションになつて居るのであります。さういふやうな所から、吾々は電燈の線の引き方にも、コンポジションが大切だといふことを發見するであります。

尙ほもう一度繰返すやうになりますが、コンポジションの實際問題の序にネオンサインのことに一言觸れますと、銀座にネオンサインの多いのは専門家としてお認めになつて居るでせうが、あの多いのは如何ですか。ネオンサインを使つたといふことは確かですが、少しもコンポジション上の効果といふものは出来上つて居りません。廣告的效果といふものが、あゝいふ風にして得られるものかどうかは極めて疑はしいではありませんか。是は一つは技術者も悪いのぢやないかと思ふ。こんなに澤山色をお使ひになつて駄目だといふことをもう少しハッキリさせて、もう少し洗練させたら宜いと思ふ。色々と色を使つてこんなのも出来ることも出来ますといふので、技術者の方が腕を示される爲に、却てこんな風になるのだと思ひます。獨逸あたりでも近來ネオンは可なり澤山使つて居ります。併しあんな銀座通りにあるやうなネオンの使ひ方をしてるものは殆ど見掛けませぬ。例へば隣りでもつて上の方に筋を入れると、こつちの隣では丸をやつて、此の中に字を書く、それから又其の隣では

四角い硝子の電球をやる。あるものは文字だけにするとかで、一般に文字が多い。日本の文字はネオンサインの裝飾用としては少し不向きな所がありますが、ネオンのチューブをぐる／＼廻して使ふのは技術家の技術のやうに思へるけれども、第一色をあんなに澤山使つて昔の錦絵なんかを見るやうにした効果といふものは、善い悪いの判断をつけるのに困りますが、實際の効果は互に混亂を増すばかりで、上手なやり方でないとは確かに言へます。是なんかも一つは唯一軒の家の廣告といふことでなしに全體の道路なら道路、モツと廣く言へば都市といふやうなものを、考を持つて居る人が少いの

に依るのであります。唯個々の家といふやうに考へて居るのが、日本の今までの傳統的の考へ方です。

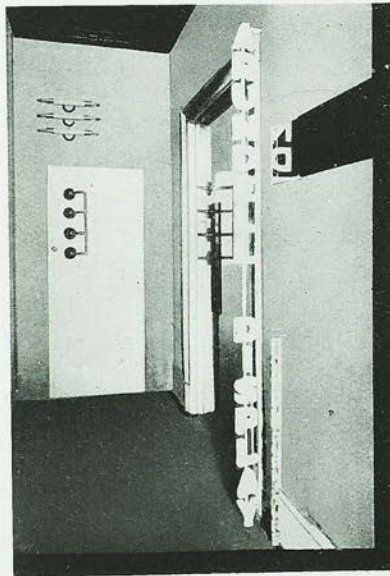
是は傳統的なもので已むを得ないのですが、併し歐羅巴の都市では、建築といふもの、考へ方が建築即ち都市といふ考へ方です。是は在來の日本の家が個々に立つて居つて、その集つたものが結局都市を形作つてゐるのですが、歐羅巴の都市は一つの都市計畫があつて、或は小さな部落でも各自の家が都市の一部分として必ず存在する要素を多分に持つてゐます。隨て今では都市の形といふものを既に研究して、其の研究に基いて都市が發展して行くやうになつて居る。此の結果個別的な建築は、殆んど個人の住宅位に限られて居つて、全體の建築といへば結局都市といふものを考へるやうになつて居る。それが詰りネオンサインの場合も直ぐに現れるのであります。こゝから向うまで一つの道路の全體としての效果に就て高低を作つたり、密集したものを作つたり、或る一つの豫想を以て作られて居るとさへ見られるのであります。銀座の街を御覽になりま

しても、あれも全體の街として或る一種の感じは持つて居ります。併ながら少くも洗練された美的効果が無いといふことは言へるだらうと思ふのであります。即ちコンポジションの訓練が缺けてゐるといふことの證據になるのだと思ひます。

どうも話が散漫になり過ぎましたが、要するに現在の建築の考へ方は古い考から現在の此の状態に達した。即ち生産の制度と、材料とが、美の考へ方に影響して、古い建築から新しい建築にどうして移らなければならぬやうになつて來て居るのであります。數の上から言へば勢力は少いけれども、是から發展して行く發展性を持つて居るのは確かです。そしてそれが自由な形式を執るやうになつて居る。其の自由は出鱈目でなくして——銀座通りのネオンサインのやうな自由でなくして、本質的に必然さうならなければならぬといふ研究の結果に基づく合理的な統一ある自由に伸びる傾向に向いてゐるのであります。今までの約束に捉はれないで發展する。そこで建築は在來の煩はしい様式といふものから脱して、今度は構造的に正しい基礎を置いたコンポジションに、更に造形的な方面から申しますと、眞實のコンストラクションをとる方に向つて居るのであります。東京などは色々な歴史的の型が踏襲されて居りますが、是には種々條件がありまして一概には申されないのですが、是は特別な例として考へて宜いと思ひます。あ、いふやうなものを好む人は特別の者でありますから、全體としての建築の傾向が新しい造形の考へに指導されて居りますことは、各學校の作業計畫、其の他を雑誌などで御覧になれば能く分ります。

こゝで希望して置きますことは、専門に照明に當られる方は、素

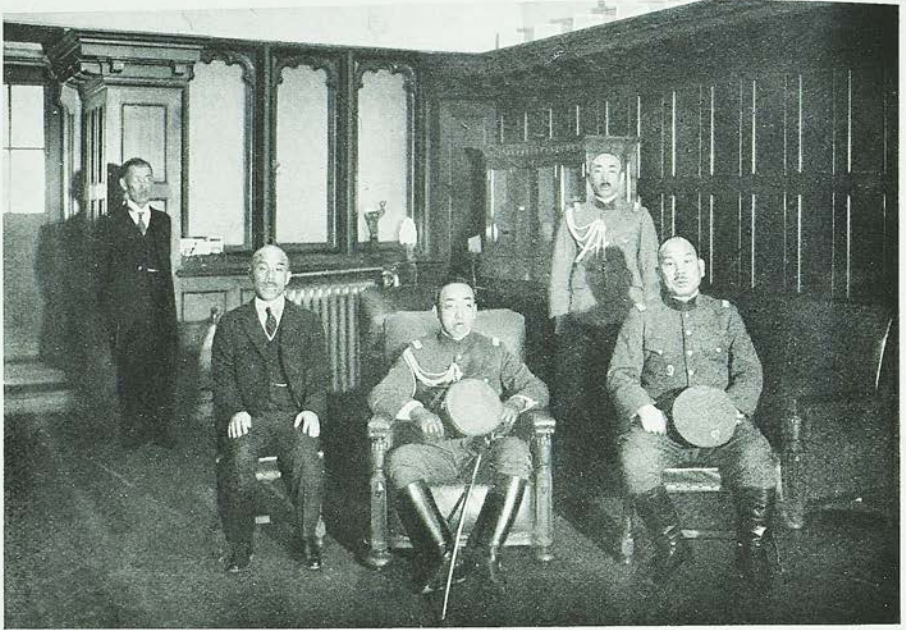
人がこんな模様が好きだから、斯ういふ模様を使へば賣れるといふやうなこと——それは營業上必要な場合もあるかも知れませぬが、併し素人が好きだからといつて、低級なものを出してやるよりも、



第七圖 ロンドンの家具商事務所入口

斯ういふ物が良いのだといつて、導く方の側に立つていたゞきたいと思ひます。普通の商人は別ですが、専門に之をやつて居られる方は、世間大衆に對しては指導的な立場に立つて行く、是は極力お願いしたいことであります。

この指導的な立場に立つといふことは、單に大衆ばかりでなく、實際の作業をする職工、其の他に對しましても、照明器具と建築との關係の密接なるを指示し、それが造型的にだけでもコンポジション乃至はコンストラクションの上で如何に重要なものであるか、スエッチの一點が全體の壁面に如何に影響するものであるかといふ、この精神を基本として指導して戴くやうにお願いしたのであります。不充分ですが是で失禮致します。(終)



下 殿 王 憲 恒 宮 陽 賀 於 是 校 明 照

輝く我社の光榮

賀陽宮殿下台臨遊ばさる

賀陽宮恒憲王殿下には産業獎勵の思召から、我社川崎工場台臨の旨仰出され、四月十四日午前十時、御附武官伊藤少佐、陸軍省整備局統制課長齋藤大佐、參謀本部附藤守少佐外五名の武官隨行我社に御着あらせられ、山口社長始め渡邊、大塚、石井の三監査役、津守副社長以下部長、副部長の奉迎裡に事務所三階貴賓室にて御少憩、我社経歴竝に現狀、福利設備、各種製品等につき社長の詳細なる御説明を聴取あらせられ、次いで社長の御先導にて、硝子工場、アルゴン瓦斯工場、伸線工場、真空管工場等の各工場御巡覽、電球工場は新開研究所長、研究所無線室は研究所副長宗博士、照明學校は關重廣氏の説明を興深く聴取あらせられた。殊に近來長足の進歩發展を見て居る無線工業の設備に就いては、最も興味を持たせられたる御模様拜せられた。

右御巡覽の後、我社貴賓室にて晝餐を御陪食の山口社長以下と談笑の中に間召され、午後一時御機嫌麗しく御歸還あらせられた。

從量電燈一箇當り平均ワット數に關する調査

東京電燈株式會社 笹 森 建 三

從量電燈需用家の使用せる電球サイズがどんなになつてゐるか、と云ふことは供給事業者にとり種々なる點に於て——一ヶ當り平均ワット數、從つて使用平均時間、電球カートン販賣上のサイズの組合はせ方、或は從量燈の増燭勧誘等々——必要なるにも拘らず、實際は仲々容易に知り得ないことに屬する。殊に從量制が發達すればするだけ（例へば東京市内の様に殆んど九十%が從量である所では）困難となつて来る。無論電燈を新設するに際しては、使用電球の容量は需用家から申し出でることにはなつてゐるが、一旦點火した後、それを變更するのは實際に於て需用家の意のままになつてゐる。ために供給業者の知らぬ間に大きくもなり、又小さくもなつてゐるわけである。

嘗て電氣事業法を設定するに當り、衆議院に於て、電球の取替も亦業法に牴觸するものなりやとの質問に對して、政府委員は然りと答へたそうだ。そのために論難攻撃暫らくは

鳴りを鎮めなかつたと云ふことである。若し假りに之が政府委員の答辯の如くであつたとせば、需要家が任意に電球を取替へることが出来ぬ事となり、從つて實際の事情に即せざる甚だ不便極まることとなる譯である。所が現在は少くとも從量電燈需用家の電球に關しては斯る問題は存在し得ないほどに、需用家の意のままに好む電球を使用してゐるのだ。

斯る事情の下に於て、從量電燈需用家使用の電球サイズを知ることが實際上甚だ困難である。大阪市電にあつては從量電燈のワット別統計表を作成してゐるが、從量電燈の燈數も少なく、從量燈使用につき種々なる制限の附けられてゐる所でならば、斯る統計も正確であり得るが、東京電燈中部營業所の様に、從量電燈需用家が十六萬四千軒、電燈數が百六十四萬三千箇もあり、その一ヶ月間の異動數が八千二百七十九軒八萬二千四十箇（六年十一月）もある所では、到底從量電燈ワット別統計の正確なるものは期待し難いと云はねばならぬ。故に何らかの必要があつて從量電

燈の平均ワット數を出さねばならぬ時は、勢ひ何らかの事實を根據としての推定數を出さねばならぬ事となる。其處で今回私共の所で（中部營業所）從量電燈の全部について實調するのは到底不可能事に屬するので、適置ビツクアップしたる需用家について現場調査を行ひ、實際使用中の從量用電燈のサイズを記録した。その結果を茲に報告し、且つそれより類推して營業上の參考となるべき結論を抽出せんと試みて此の一文を草する。

備考 本調査を實施したのは昭和六年十月中であり、其の後（十二月十日）會社職制の改正により中部營業所は解消せられて、その管轄下にあつた日本橋、京橋、麴町、駒込、淺草の五出張所が其々營業所と稱せられるに至つた。舊中部營業所區域は四谷區、本所區、深川區を除いた東京市十二區に巢鴨町、日暮里町の一部を含んでゐる。

大體左記要領の下に調査を實施した。

一、調査は昭和六年十月一日から二十日迄の間に行ふこと。(一年中最もノールマルな需要状態にあるが故に)

一、従量電燈需用家戸々の現場に付き實際使用中の電球サイズを記録する。

一、中部營業所管下には出張所が五ヶ所ある。

一、調査は商業地區と住宅地區とに分つて行ふ。

一、各出張所は商業地住宅地各十地區に付調査を行ふ。

一、地區の調査軒数は三十軒内外とする。此の總計約三千軒となる。

一、需用家に對し充分の了解を求めたる上、なすべきこと。

右の要領の下に出来上つた調査概括表は左の通りとなつた。

第一表

種 別	商業地	住宅地	合 計
調査軒數	一、五三三	一、五〇六	三、〇三八
調査燈數	一九、三六七	一〇、六六六	三〇、〇三三
總ワット數	一、一〇〇、八六四	三三六、四三三	一、五七、二九五
一ヶ當り平均ワット數	六二・〇〇	三〇・五一	五〇・八〇
一軒當り燈數	一・二七三	七・一〇	九・三二

右表に見る如く、一軒當り燈數から云つても、又一燈當り平均ワット數から云つても、商業地は住宅地を斷然壓倒してゐるが、これは勿論當然の事である。無論平均使用時間も長かるべく、従つて消費量も大に、甚だ結構な有難い負荷であると云ふことになる。

實調軒数は兩者共に約千五百軒であるが、總需要中で住宅と商店との數がどんな比率になつてゐるか、若し畧々同數であるとすれば、本調査による合計の數字を以て直ちに全體に適用類推しても、さしたる不都合がないわけであるが、その點竝では如何ともはつき

第二表

ワット別	商業地		住宅地		合 計	
	箇數	百分比	箇數	百分比	箇數	百分比
二	四三	〇・二	一六	一・三	一六	〇・六
六	四八	〇・二	四七三	四・四	四八	〇・二
七	一七九	〇・九	一、四七三	一三・三	一、六五二	二・二
一〇	一、二四〇	六・三	一、四七三	一三・三	二、六四〇	八・七
一三	九三三	五・一	七五五	七・二	一、七六八	五・八
一五	八四四	四・三	八四七	七・九	一、六七一	五・六
二〇	一、四三二	七・三	一、五一四	一四・二	二、九三六	九・八
二五	二、一四九	一一・一	二、〇〇〇	一九・〇	四、一四九	一三・八
三〇	一、四五五	七・五	一、三六七	一二・八	二、八二二	九・四
四〇	四八六	二・五	一、七九三	一六・八	六、六五八	二一・三
六〇	七	—	九	—	一六	—
八〇	五、一三八	二六・五	三三四	三・一	五、四七三	一八・二
一〇〇	一三九	〇・七	一	—	一四〇	〇・五
一五〇	八三五	四・三	—	—	八三六	二・八
二〇〇	五九	〇・三	—	—	五九	〇・二
超過	一九、三六七	一〇〇・〇	一〇、六六六	一〇〇・〇	三〇、〇三三	一〇〇・〇
合 計						

り斷言出来ない。唯だ消極的ではあるが、本調査による合計の一軒當り燈數が九燈・九二であり、總需要の一軒當り燈數も矢張り九燈・九九となつてゐる所から推して、中部營業所の、従つて東京市の従量電燈一ヶ當り平均ワット數は五〇・八ワットであると云ひきつてもよい様に思はれる。(定額燈の平均燭光數は約三十二燭となつてゐるのに對して、丁度適當の所である様にも考へられる。)

三

前節に述べた實調電燈を更にワット別に表示すれば左の通りとなる。

(イ) 右表によつて知り得る如く、合計百分比に於て最大なるは六〇ワットの二二・一％次いで百ワットの八・二％第三位が三〇ワットの二三・八％となつてゐる。八〇ワット電球に至つては總數三萬の中で僅かに十六個に過ぎない。電球サイズ單純化論の權威者たる東京電氣の柱主事は八〇ワット電球の存置を主張されるが、從量電燈需用の實際は斯くの如くである。八〇ワット電球の存廢に就いては私は主事と意見を異にするものであつて、その必要を認めないのである。それは定額電燈の需用に於ても、又從量電燈のそれに於ても、事の實際を見てゐるが故に尙ほ更強く信じてゐる。

(ロ) 更に興趣深く感ずるのは値段の同一なる電球は、高ワットのものほど多く使用されてゐると云ふ事實である。例へば一〇ワットから三〇ワット迄は同一値段段であるが三〇ワットの需用數が最多である。之は四〇ワットと六〇ワットの間にも、八〇ワットと百ワットの間にも同様に云ふことが出来る。茲にも電球サイズ單純化の論據が充分に潜んでゐる。

(ハ) 更に二百ワットを超過するものが五十九箇あるが、これは主として商業地に於ける。

ネオン管燈である。殊に×印のものはそれである。次の様な容量及び箇數になつてゐる。

二二五ワット	二箇 ×
二五〇	四
二六五	三
二七〇	八 ×
三〇〇	二 ×
三五〇	七
三七五	二 ×
四五〇	一
四八〇	一 ×
五〇〇	五
合計	五九箇

四

第二表によつて明らかなるが如く、商業地と住宅地とは百分比に於て著しき相違を示してゐる。即ち前者にあつて最大なるは百ワット電球の二六・五％であるのに對して、後者では三十ワット電球の一九・〇％である。比較對照に便ならしむべく比率の大なるもの順に左に第三位まで摘出して見よう。

商業地	住宅地
二〇ワット 三六・五％	三〇ワット 一九・〇％
六〇 三三・二％	六〇 一六・八％
三〇 二二・二％	三〇 一四・三％

茲で一應注意しなければならぬのは、商業地と稱してもその電燈が全部商業用に使はれてゐるものではない、と云ふ事である。即ち日本の商店街は純粹の店舗のみではなく、同

一の家を住居と店舗とに共用してゐると云ふ事である。表は店舗であり奥や二階は住居であると云ふ事だ。本調査に於ける商業地の需用家は正に之である。従つて第二表中商業地の需用電燈と稱しても、その中には住居用のものも多分に含んでゐるわけである。そこで若しも純粹の商業用電球を觀んと欲するならば、何らかの方法を以て第二表中商業地の箇數を、商業用のものと住宅用のものとに游離する必要がある。そのために便宜次の様な方法を探つた。

第二表中住宅地の電球は純粹なる住宅用のものなるが故に、その合計數に對する商業地の合計數の割合一・八一を、住宅用各ワット電球數に乘じ、而して兩者各ワット毎について差引きしたる結果、商業地に於て住宅地に超過するものが、店舗に使用されてゐるものと看做すのである。

即ち次の様な第三表が出来る。

第三表の差引欄中×印のものが、茲に謂ふ純粹店舗用のものと云ふことが出来る。唯だ六十ワットに關しては必ずしも店舗用のみではないのかも知れぬ。

それに私共の注意を惹くのは、商業地に於て住居用と見做される電球が、住宅地に於ける。

第二表

ワット別	商業地 實調數	住宅地實調數 （一、八一を乗じ たるもの）	差 引
二	四三	三八・〇六	一六六・〇六
六	四八	—	—
七	一七九	八五・一三	六九・二二
一〇	一、二四	二、五二・〇六	一、三六・七〇
一二・五	九三	一、四三・七五	四九・七五
一三	八三四	一、五三・〇七	七〇・〇七
二〇	一、四三	二、七四・三四	一、三八・三四
三〇	一、四九	三、六四・三〇	一、五五・三〇
四〇	一、四三	二、四四・七	一、〇二・七
六〇	四、八五	三、三六・三三	一、六六・六七
八〇	七	一六・二九	九・七
一〇〇	五、一八	六四・五四	四、五三・四六
一五〇	一三九	一八一	一七・二九
二〇〇	八三五	一八一	八三・二九
二〇〇	五九	—	五九・〇〇
合計	一九、三六七	一九、五・七六	一六二四

るそれよりも概して高ワットであることだ。
之は店舗に高ワット電球を使用することに牽
引されて、自ら住居用としてもそのサイズが
擴大されて行くのであらう。

五

電球を販賣するに當り顧客の希望するがま
まの電球を賣る——所謂バウ賣によるのが、
先づ普通に行はれる所であらうが、他面組合
せ販賣は特に注目すべき重要性を持つてゐる。

る。即ち組合せる電球サイズの如何によつて
は従量電燈の増燭も期待し得るし、更に需用
家に電球のスペアを所有させ従つて、電球
斷線による使用中斷期間を皆無ならしめる。
然るに組合せる電球サイズが當を得なかつた
ならば、増燭の目的も達し得ないし、殊に需
用家の餘り要望しないサイズの組合せであつ
たら、販賣高の多きも望まれ得ないだらう。
嘗て私共の所で住宅向と商店向の二種に分
つて、六ケ入カートン販賣を實施した事があ
る。前者は六十、四十、三十各二箇宛、後者
は百ワットのみ六箇と云ふ組合せであつた。
結果は住宅向は良好であつたが、商店向は餘
り香んばしくなかつた。今にして思へばその
理由が首肯出来ぬこともない。即ち住宅向の
六十、四十、三十各二ケ宛のカートンは住宅
需用家の實際に使用し且つ要望するものであ
ることが、第二表の百分比によつて知ること
が出来るとし、且つはその一ケ當り平均四十三
ワットとなつて増燭の目的も達し得る。然る
に商店向として百ワットのみ六ケを組合せた
のは、たとへ商店用として最も望まれてゐる
のが第二表及び第三表によるが如く百ワット
ではあるけれども、此れ以外に六十ワットも
又二百ワットも共に需用されてゐるのだ。即

ち第三表差引欄に於て見るが如く、その割合
は左の通りとなる。

ワット別	箇數	割合
六〇ワット	一、六元	二
一〇〇	四、五三	五
二〇〇	八三	一

百ワットのみ六ケの組合せは決して妥當で
はなかつた。むしろ百ワット三箇に、六十ワ
ット二箇、二百ワット一箇を以て組合せるか
或は強く増燭の意味をこめて百ワット三箇、
二百ワット二箇、六十ワット一箇と云ふ組合
せでもよいであらう。

斯くすることにより需用家の望む所に添ひ
得、従つて販賣高を大ならしむると共に、増
燭の目的も達し得るものと思惟される。

六

本調査より獲たる所は次の通りである。

一、従量電燈一ケ當り平均ワット數を知り得
たること。

二、従量電燈使用量は毎月分明なるが故に、

従量電燈の平均使用時間を知り得たること

三、電球カートン販賣の電球組合せ方に付、
獲る所ありしこと。

四、従量電燈増燭勧誘の基礎資料を獲たるこ
と。

一九三一、一一、二五——

特殊電球に就て

東京電氣株式會社
事業部電球課

木 村 銀 之 助

日本に於ける電燈事業の發達は目醒しいもので、電燈の普及は山間僻地にまで及んで居る。猶最近世人の照明に對する知識の進歩は著しく、使用する電球の光束數の漸増となり、又特殊用途に對する各種の電球の需要は急激なる増加を示しつゝある。

以下最近進歩發達した特殊電球の數種に就て、簡單な説明を試みようと思ふ。

管 型 電 球

商店の飾窓又は陳列箱の意匠は經營上の一要素であるが、之を良照明によつて美化することの極めて必要なることは云ふ迄もない。此の種の電球は隠蔽して使用し、なるべく廣い部分を一樣均一に照明する爲め、細き管型硝子中に螺旋狀條を直線狀に織線したものをを用ひるのである。

而して近來は飾窓陳列箱の枠も細く改良せられたので、ソケット、反射鏡等附屬品の大きい來の片口金管型電球では、外觀が悪く其儘使用することは出来なくなつてきた。

新しい管型電球は硝子管の兩端に直徑十九耗の小型の口金を取附した兩口金管型電球であるから、ソケット等の附屬品も極めて小さくて済み、商店用としては極めて適當して居るのである。

商店専用として使用して來た管型電球は、

其の製品に改良進歩が加へられると共に、別な方面即ち間接照明用或は光築照明用等にも使用せらるゝ様になつて來た。此の實例は我々が各方面に於て多數に見受る通りである。

管 型 電 球 (兩 口 金 附)

新しい管型電球中最も特筆すべきものは、内面反射面附と稱するもので、これは空色の縁取を持つ純白反射面を硝子の内部半面に加工したもので、反射面の剥落することは絶対にないのみならず、反射率も良く、其の上散光反射をする爲めに、光に

柔か味があり、電球の外観も極めてスマートで、商店用として最も適して居る。

其の他に鏡面反射附、透明硝子、晝光色硝子、乳色硝子の四種類があり、一〇〇及び二〇〇ヴォルトにて二五ワット乃至一〇〇ワット迄製作せられ、總丈は標準寸法通り極めて



管 型 電 球

正確に作られて居る。

又以上の兩口金管型電球の他に、商店用として中型螺子口金を採用した小型の片口金管型電球もある。これは一〇〇ヴォルト二〇ワットで内面反射面附の仕上げである。

着 色 電 球

サインに裝飾に必要缺く可からざる色電球（色電球としてのサイン電球をも含む）は現代電球界の流行兒である。ネオンサインの流行に次ぎ、其飽和に伴つて依然色電球は需要の増加を示して居る。美しい色電球とネオンの

併用に依つてネオンを一層引立て、或は各種の色、各種の大きさの色電球を任意に用ひて種々の意匠を凝し、柔かに又變化のあるサインとして人にあかれない點に於て、ネオンサインの及ばぬ強味を持つてゐるといふことが出来るであらう。又裝飾としてはカフェー等の室内裝飾用として其の需要は頗る多い。

然し從來の外面着色の方法による時は、品質上種々の缺點は免れなかつたが、内面着色電球を用ひれば非常に鮮明なる色彩を出すことを得るのみでなく、絶対に褪色又は剥落する虞れない。

色は七種に及び電球の種類は小型のサイン用と大型の一般照明用の二種に別れ、一〇ワット乃至一〇〇ワット迄製作されて居る。

生地色電球

着色電球の發達しない頃は生地硝子に依る色電球が使用せられたものであるが、現在では特別の場合の外は之を使用するものはない。然し寫眞暗室用電球、晝光電球、カナリヤ電球等は生地硝子によらなければならぬ。暗室用としては銅赤硝子を以つて感光を防ぎ、晝光色は特殊青硝子を以つて日光に近からしめ、カナリヤはウラニウムを含む硝子に依つて紫外線を吸収せしめ、眼の保健用或

は養蠶燈として使用されるのである。

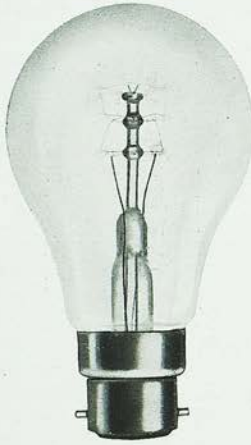
耐震電球

震動或は衝撃のある電車に、艦船に、工場に、耐震電球の要望は多年のことである。艦船に於ては電源が多くは二二〇ヴォルトであ



耐震電球 (100V用)

る爲め、此の種の電球の製作は甚だ困難であつたが、最近特殊の耐震用タンゲステン纖維



耐震電球 (200V用)

により、其纖維方法の改良と相待て、完全なる耐震電球を得ることが出来る様になつた。

寫眞用電球

寫眞營業家のスタジオに白熱電球を使用することは、建築費を省き又日光の強弱による露出時間の加減等の煩ひを除くので、非常に有利なところから從來廣く用ひられて居た。一時水銀弧光燈の如きものも應用せられたことがあるが、經費の點で現在は餘り行はれて居ない。此の電球に於ても整色或は超整色乾板の出現等によつて著しい改良變化が見られたのである。從來使用し來つた二五〇或は五〇〇ワットのもの以外、使用硝子に特殊のものを應用して、一〇〇ワット級のものでも撮影に不便を感じざる様になつた。又活動寫眞撮影に於ても、此一〇〇ワット級の電球を以て、一般のアマチュアが家庭に於て九耗又は十六耗映畫を作つてゐる。

映寫用電球

活動寫眞の普及は一般家庭にまで及んだ。九耗又は十六耗映寫器械だけでも甚だ其の種類が多い。映寫用電球としての必要な條件は、光源が小さくて、高能率でなければなら

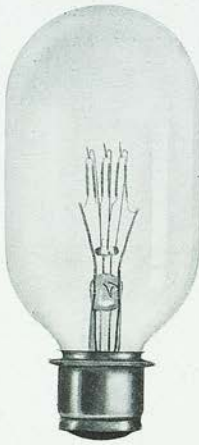
ぬが、此要求に應ずる爲め二重捲織條が出現した。これはコイル織條を再度螺旋狀に捲い



二重捲織條電球

たもので、光源を著しく小にしてある。家庭用九耗或は十六耗映寫機に使用するの、此種の電球である。

電壓は主として一〇〇ヴォルト級が採用せられて居るが、近頃は一般に低電壓のものが用ひられる傾向がある。之は一層電球の光源を小にせんとする現れである。即ちなるべく光の利用率を高めて、一層明るい畫面を得んとするもので、變壓器或は抵抗器を併用して居るのである。



標準電球

映寫用電球の種類は甚だ多く一〇〇ヴォルト級は一〇〇乃至一〇〇〇ワット迄あり、又七五、五〇、三〇、二〇ヴォルトで二〇〇乃至五〇〇ワットのものもあり、其他に九耗映

寫機用として特殊のものもある。映寫機の種類増加につれて、電球の種類も漸次増加の傾向を辿つて居る。

硝子球は總て管型を使用し、容量の割合に外形は小型であるから、特殊の耐熱硝子を以つて製作され、口金は定焦點型が最も多く使用されて居る。

トーカー用電球

最近發聲映畫の急劇なる發展は、之に缺く可らざる光電管エキサイター電球の需要を激増した。此の發聲裝置は極めて細き間隔を通して光電管に光を送る必要上、織條は常に一直線狀に保たなければならぬので、特殊の裝置に加工してある。

外形は小型で寸法は正確に出來て居る。電壓は五乃至二七ヴォルトで、電流は一乃至七・五アンペアのものが多く、現在我國で使用されてゐる發聲映寫機の種類は、輸入品國産品を合して十種類以上に及んで居る。

幻燈用電球

實物幻燈器械は映寫器械と異り、主として電球を垂直線より四五度下向に傾斜して點火するものであるから、丸型硝子球を用ひて製作してある。織條は平面型で、此點は映寫用

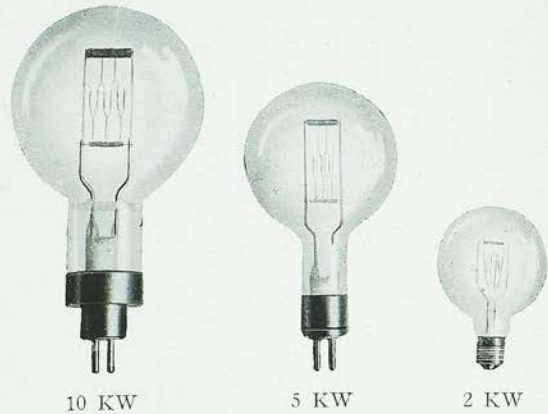
電球と同様であるが、其の織條の集光度は被寫體が大きいから餘り問題にする必要はない。大きさは四〇〇乃至一〇〇〇ワットで、高能率に設計せられ、硝子球は耐熱硝子を以て製作せられたものである。電球の輻射熱により映寫紙等のそこすることは、實物幻燈使用上困難を感ずることであるが、最近考案せられた流水冷却による水冷式電球は、此缺點を補はんとするもので、二重硝子球の間に流水を通じ、電球より發する輻射熱の大部分を除去する。其の爲めに起る能率の低下は甚だ僅かで、實測の結果によれば實用上何等差支ない程度のものである。

スポットライト用電球

劇場、活動寫眞撮影場、飛行場等に使されるスポットライト用電球は、其取扱上或は經費等の點より次第にアーク燈の領域を侵略した觀がある。それにつれて高ワットの電球製作技術は目覺しい進歩を示し、一〇キロワットの如き大容量の電球をも、比較的容易に製作し得るに至つた。

劇場、活動寫眞撮影場に於ては、一キロ乃至三キロの電球が多く使用せられ、五キロ以上は主として飛行場の照明に用ひられる。

硝子球は特殊耐熱硝子製丸型で、織條は平面型である。二キロ及びそれ以上の高ワット



ス ポ ッ ト ラ イ ト 用 電 球

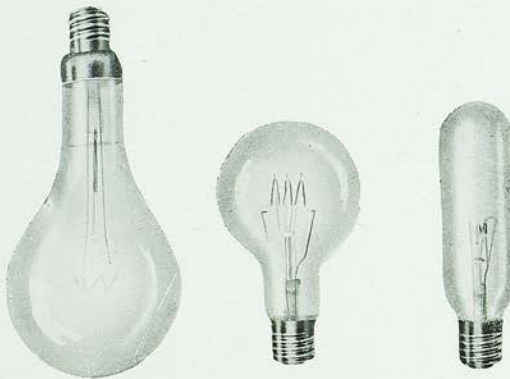
のものは、温度上昇による口金外れを防止する爲め、口金のセメントの使用を避けて、特殊の方法により導入線はアーク熔接を以て口金に取付けられて居る。尙五キロ以上の電球は差込式口金を採用して居るので、特別大型のソケットが必要である。

投光器前照燈電球

投光器用電球は従来の溢光照明、操車場照明より更に進んで、運動場照明に應用される

に至つた。

汽關車、電氣汽關車或は郊外電車等には強力なる前照燈が必要である。兩者共に光のビームを必要とするため、集光型織條を以て製作せられ、器具は雨水塵埃の侵入を防止する必要上、密封式であるため耐熱的に設計されて居る。前者には一〇〇ヴォルト級二五〇から一五〇〇ワット迄、後者には汽關車用として二四乃至三二ヴォルト、其の他は一〇〇或



活 動 寫 眞 撮 影 用 電 球

は二〇〇ヴォルト級で一〇〇から二五〇ワット位迄が使用される。

蠟燭型電球及び燈明燈電球

蠟燭型電球は美術的に仕上げたものでなくてはならないが、從來のものは主に焰型電球を蠟燭の形をした器具に取付けた、餘り體裁の良いものではなかつた。

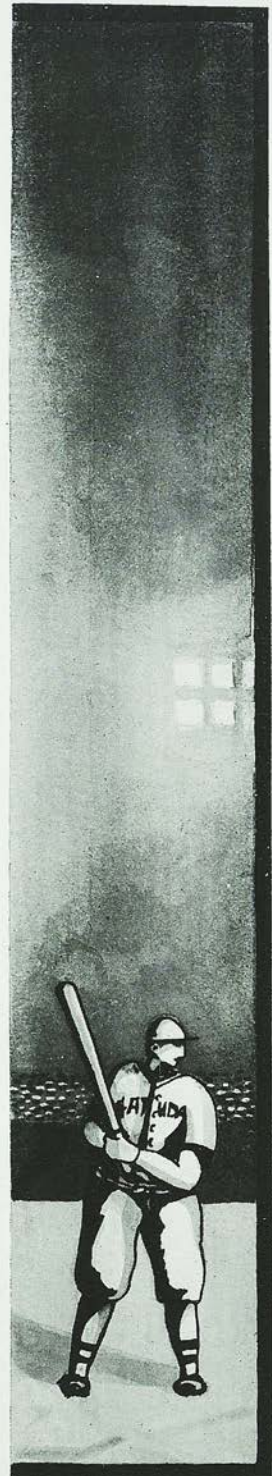
最近シャンデリヤ用として優れたものが出来た。これは内面艶消硝子製の蠟燭形で、軸の部分だけ内面着色の象牙色に仕上げ、焰に相當する部分に織條を封入し、數個直列に點火してシャンデリアとした。一個斷線の場合に他の電球の消えるのを防ぐ爲め、電球の内部に自動短絡裝置が備へてある。

神佛のお燈明として手数のかゝらない危険の無い電球が利用される様になつたのは最近のことである。此の電球は小型全艶消焰型で一〇〇ヴォルトのものと、豆變壓器を使用する一〇ヴォルト以下の低電壓のものとがある。之に使用する器具は其取付場所に従つて夫々適當な燭臺型に作られてゐる。

以上は各種特別用途の電球中代表的なものに就てのあらましを述べたのであるが、此の他醫療用方面に於ける赤外線深部治療用、葦外線を利用するバイタライト電球、又は生絲、寶石等の鑑識用電球或は園藝に養鶏に漁業に、其の他各特殊の方面に於ける電球の應用は、年と共に益々擴大しつゝある。

夜のスポーツ (其三)

—— 野球場及び蹴球場の夜間照明 ——



フィールド及びトラックの照明

スポーツと云へば野球と云つた感じが深い爲に、野球場の照明に就いて先づ述べたのであるが、これから蹴球場即ちフィールド及びトラックの照明に就いて記する事とする。

アメリカでは野球も盛であるが、それよりも寧ろフットボールの方が更に盛である。日本が野球を學生スポーツの花として謳歌すると同じ程度にフットボールを學生がやる。従つて其照明も又なかなか盛である。五〇個所以上の野球場照明に對して、是は一個所當りの所要電燈電力は小さいにしても其數は實に

すばらしい程ある。それは一般都市だけのもので無く、學校のものまでがやつて居る。恐らくアメリカだけでも現在三〇〇個所、所要電力一萬二千キロワット位には達して居るだらうと思ふ。今夏開催されるロスアンゼルス

の萬國オリンピックの競技場等も、既にすばらしい晝を欺く電燈照明の設備が出来上つて居ると云ふ。

は勿論無い、又野球程高く球が上る事も無い。こんな理由に依つて、フットボール場の照明は野球場の照明に比して遙かに容易であり、無難である。

先づフィールドとトラックの大きさである

野球場は其最小のものは規定されて居て、大きい方には制限が無い様であるが、フィールド及びトラックでは一定の大きさがある。規定通りであると、小さい野球場よりかへつて大きいものである。即ちフィールドでは幅が五〇メートル長さが一二〇メートルあつてトラックはフィールドの周圍をかこみ、周の

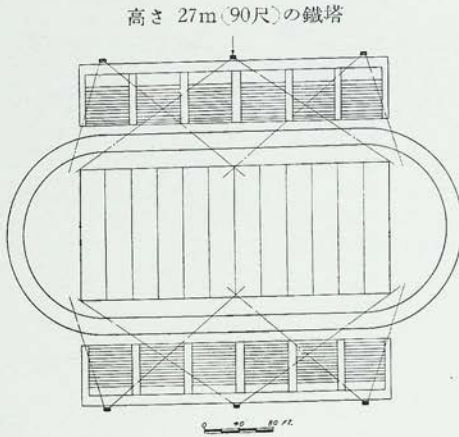
東京電氣株式會社
事業部照明課

土 居 巖 井

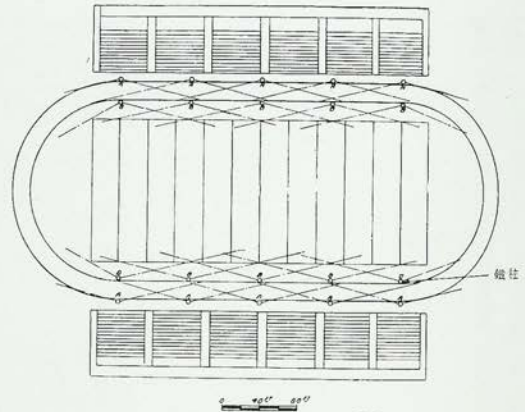
長さは四〇〇メートルになつて居る。

照明方法は野球場と同様に、高い鐵塔又は鐵柱を立て、投光器又は大型反射笠を用ひて照明する。

照明器具 は今述べた通り投光器と大型反射笠の二種類あるが、其構造は野球場で使用するものと全く同様である。投光器は鐵塔の上に、反射笠は鐵柱の上に載せる。一般に投光器を使用する場所は、觀覽席スタンド等が大きく大規模の競技場であつて、反射笠を使用する場所は割合に小規模の競技場である。投光の方向を自由に調節し得る事、投射の能力がよい事等の爲に、投光器を使用する方が



第一六圖 投光器に依る陸上競技場の照明



A…フィールド及びトラツクの兩方を照明する場合
B…フィールドのみを照明する場合

第一七圖 反射笠器具に依るフットボール場の照明

ラツクからの距離に依つて定まる。

次には明るさである。フットボール、又は各種の陸上競技に對する照度は前にも述べた通り、野球程明るくなくてもよい。最低四五ルクスもあれば結構である。勿論經濟上許され得るならば、明るい程何かにつけてよいのであるが、一般に大都市のものは田舎のものに比して明るくなつて居るのは、何れの照明も同じ事である。今夏開催されるアメリカのロスアンゼルス萬國オリンピック競技場は平均五〇〇ルクスもあると云ふが、先づ一〇〇ルクスあれば充分と思はれる。

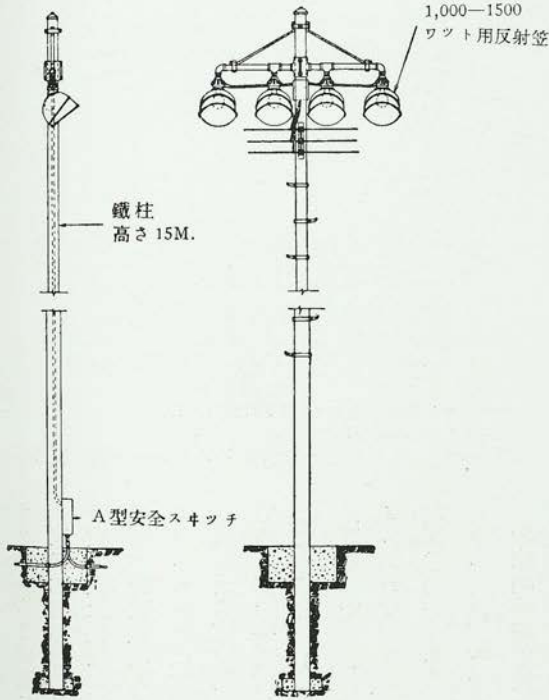
野球場の使用電力即ち照度の高低に依つて大體標準が定められて居ると同様に、フットボール場でも其標準が制定されて居る。今之を技萃して見ると次の様になつて居る。

一、二四二キロワット（投光器の照明）、大都市又は大學の競技場に使用する。一五〇〇ワット投光器を一三八個使用し、電球は一〇％の過電壓で點火する。

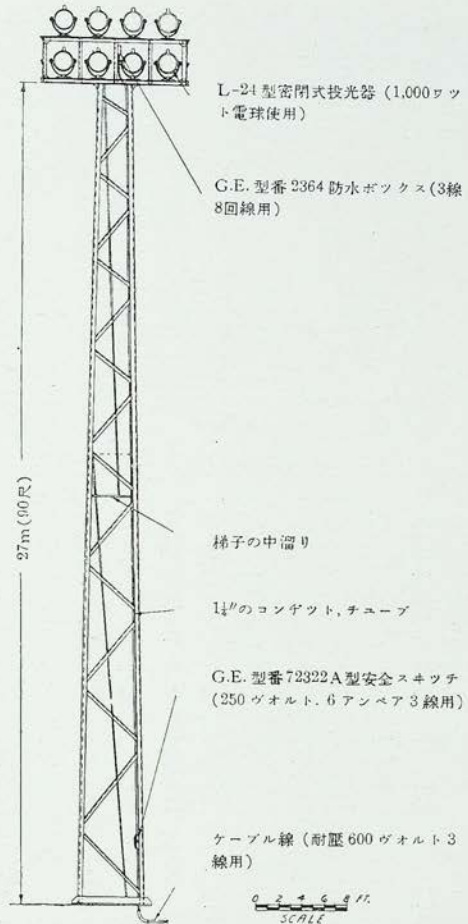
二、一二六キロワット（投光器の照明）、大都市又は専門學校の競技場に使用する。一〇〇〇ワット投光器を一〇八個使用し、電球は一〇％過電壓で點火する。

三、七〇キロワット（投光器の照明）、小都

- 市又は専門學校の競技場を使用する。一〇〇〇ワット投光器を六〇個使用し、電球は一〇%の過電壓で點火する。
- 四、四七キロワット（投光器の照明）、最小の照明設備であつて、普通學校の競技場に適する。一〇〇〇ワット投光器を四〇個使用して、電球は一〇%の過電壓で點火する。
- 五、五八キロワット（反射笠の照明）、小都市又は、専門學校の競技場を使用する。
- 一五〇〇ワット二燈用反射笠を一二個使用し電球は一〇%の過電壓で點火する。
- 六、一八〇キロワット（反射笠の照明）、中



第一九圖 反射笠取附用鐵柱



第一八圖 投光器取附用鐵塔

都市又は専門學校の競技場を使用する。

一五〇〇ワット二燈用反射笠を六〇個使用し、電球は規定電壓で點火する。

七、四八キロワット（反射笠の照明）、最小の照明設備で普通學校の競技場を使用する。一五〇〇ワット二燈用反射笠を一六個使用し、電球は規定電壓で點火する。

此の標準で行くと、最高二四二キロワットになるが、野球場の最高標準に比べて大分電力も少ない様である。明治神宮の競技場は其規模が大きいので、大體一〇〇ルクスにするには二五〇キロワット位は必要である。

次には照明設計の計算であるが

是は前號野球場の照明の處で述べた方法と全く同様である。但しフットボールの方は高い飛球が無いので、あまり上空迄の立體的照明は其必要がない事となる。

以上で大體フットボール場、又は

いて其概略を述べた。

野球、フットボール、の他に、スポーツは澤山ある。テニス、ホッケー、ゴルフ、バスケットボール、さては、水泳、海水浴、スキー、スケート等、枚舉に遑無しである。何れも夜の照明で出来ないものは一つもない。既にテニス、水泳等の如くに立派に照明の下でやつて居るものもある通り、實際に全部夜の電燈照明設備で完全に出来るものばかりである。照明方法は各々其場所等所に依つても

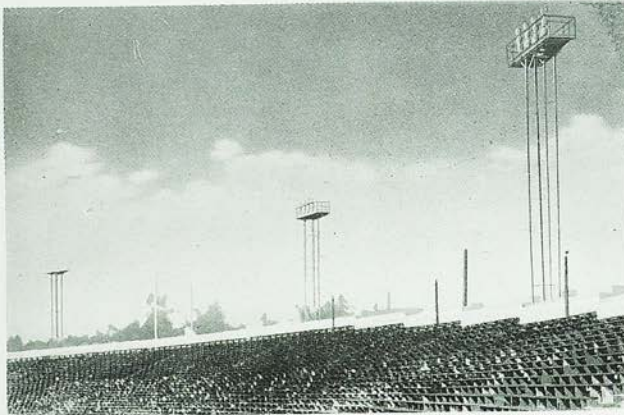


第二〇圖 アトランタ市のるフットボール場の照明

フィールド、トラックに對する照明設備に就

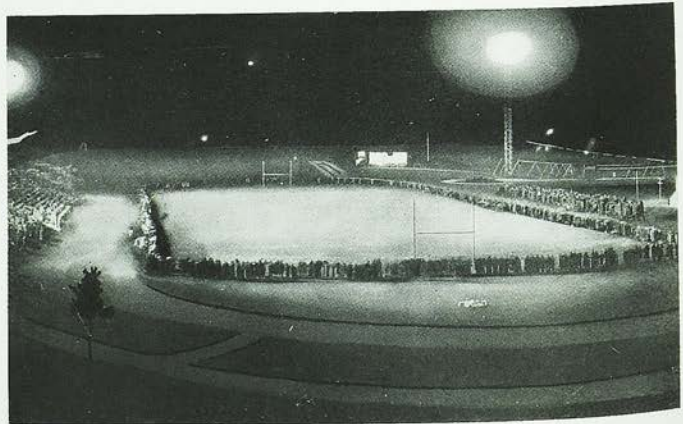
多少は異なるが、大體に於て高い鐵塔又は鐵柱を立て、投光器又は反射燈で照明する事に變りは無い。そして何れも一〇〇〇乃至一五〇〇ワットの大型電球を使用する。

上記スポーツの他に 最新の日本に職業的ではあるが、非常に盛んになつて來たものに拳闘がある。帝都ではほとんど連日連夜やつて居るが、多くの場合職業的立場からして夜やる。現在日比谷の公會堂は、全部夜やつて



第二一圖 同 競技場の晝景

居るがいつも、觀集堂に溢るる盛況である。そして、屋内の狹隘をかちつつある。アメリカでは、之を夜野球場でやる。是は面白い事である。前にも述べた通り、アメリカでは夜の野球がなか／＼盛である。従つて、其照明設備を有する野球場が非常に多いのであるが、是等の野球場は、其照明設備を利用する、野球をやらない夜は拳闘に之を利用す



第二二圖 ノックス、アスレチック、フィールドに於ける夜間照明の實況

る。勿論拳闘の場合には野球をやる場合程、それ程全體が明るくなくてよいが、其電燈設備があると云ふ點に於て非常に便宜である。第二四圖は野球場に於ける、夜間拳闘試合の實況である。



第二三圖 照明光を浴びての快走

拳闘も何れ近い將來に於て、狹隘な屋内を捨てて廣大な屋外に飛び出す事であらう。

拳闘とは又其性質が反對で全然異なるものであるが、拳闘同様に最近盛んになつて來たものにゴルフがある。ベビーゴルフは既に過去のものとなりつつある。屋外のゴルフリンクである。是も夜やる事に非常な興味がある。練習場は既に夜やりつつある。投光器を數十個使用して、其明光の下に、白い小さな球が遠く二〇〇ヤード線に近く、飛びつつある事は、東京市外の玉川ゴルフ場にも現在見



第二四圖 クリーブランド野球場の夜の拳闘

られる。之は練習用であるが之もやがては、ゴルフリンクスに明輝々たる照明設備が出来る事であらう。

夜のスポーツ スポーツは晝間だけに限られない。明治神宮の水泳場等は既に立派に夜のスポーツとして、其眞面目な堅實な、地位と品位とを保ちつつある。野球に、フットボールに、夜のスポーツは今後必ず我國、スポーツ界の躍進につれて、其存在を價值づけて行く事であらう。

吾々が夜のスポーツを説くのは此の意味であつて、決して不眞面目な態度を以つて、唯夜やれば吾事足れりとして、之を無暗に宣傳しようとするものではない。吾々照明家に取つての専門外の残された問題、夜のスポーツと保健と云ふ様な問題も、外國でやつて居ると云ふだけでは濟まされない。議論の多い日本の事として、どうせ問題になるならば、なるべく早く識者の御研究を願つて、夜のスポーツが、一日も早く、文化設備の一つとして發達、實現し、御互に健全な意味に於いて、之をエンヂョイし得る日の來らん事を切望して止まないものである。

長く御愛讀下された事を深謝して、筆を擱く事とする。(終り)

コロラマ照明と電球

東京電氣株式會社
事業部照明課

關 重 廣

昨年の暮のこと、或る一流のカフェーで日本で初めてコロラマをやるといつて大變な意

氣込であつた。丁度開店の前の晩、愈々今日は點火試験を行ふといふことになり、コロラマが綺麗に點火された。所がどうしたことか明るさが揃はない。或る所は赤い色がばかに明るく、或る所は暗い。随つて他の色と混つた色合が少しも揃はない。それではワット数が違ふなと直ぐに考へられた。コロラマには色に應じて皆ワット数が違ふのであるから、其の割合を間違へたと感じたので、モウ一度能くワット数を調べろと命じた。所が其の工事店の人は大丈夫です。決して間違つて居りませぬと答へた。

所が同じワットのものならば同じ明るさのものであらうといふのが僕等の常識である。餘り不思議に思つて、どんな電球を使つて居るか尋ねた處、其人は頭を掻きながら、實は斯んなものを使つて居ると言つて取つて見せた。それは名の分らぬ安球であつた。斯んなものをつけては駄目ぢやないかと言ふと、

實は請負價格が安いので、是で御勘辨を願ひたい。實は十錢の電球なのです。

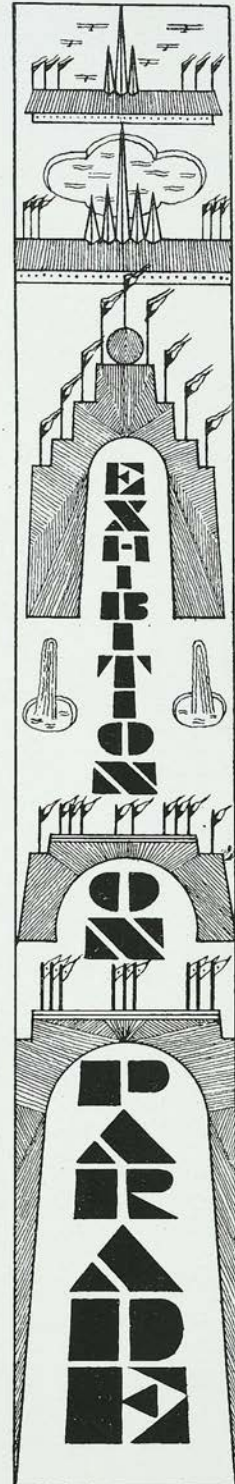
之には私も聊か開いた口が塞がなかつた。そこで其處のカフェーの主人を呼んで、此の結果の甚だまづいのは、電球が不揃ひなためである。故に斯ういふ照明をするには、電球の明るさが必ず均一に揃つたものでなければならぬ。今日は仕方がないが、今後之を取換へられる時には全部一樣なものに取換へて貰ひたい。普通の部屋の電燈ならば、どんな電球を使はうが唯だ貴方の懐が經濟になるか不經濟になるかといふだけに止まるが、斯ういふ照明に斯んな電球を使つたんでは、照明其ものがまるで駄目になる。ですから私は他の場所の電燈は何とも言はないが、此コロラマだけには必ずマツダランプを使つて欲しいと言つて歸つて來た。

翌日の開店日に招待されて行つて見るとモウ既に所々色が變つて居る。即ち電球が切れたのだ。赤い色が點く所が一つ切れて居るため、其處だけ他の色が強く這入つて來て縁に

變つて居るといふ有様、更に翌日念の爲に行つて見ると又ひどく切れて居る。其後頻々と切れて、其處のマネージャーは一ヶ月の支拂が非常に多くなつて、是ではやり切れませぬと零してゐた。電球の費用もやり切れぬだらうが、それよりも僕に取つてはコロラマ照明の見窄らしい姿が尙ほやり切れない。

そこでマネージャーに言つて、自分は商賣關係で斯んな事を言ふのではないのだ。折角貴方の依頼に應じて斯ういふやうな照明をやつたのに對して、それがうまく行かないのが僕に取つて實に悔やしい。だから僕の氣持を察して呉れるならば、モット良い電球を使つて貰ひたいと言つた。マネージャーに取つては照明の良くなることよりも、懐具合の方が大事であるだらうが、其の懐具合と照明をよくする事とは丁度此の場合には一致した。

それで早速賛成して、全部マツダに換へることに決定した。もう此の雜誌が出る頃には多分マツダに換へられて、均一な色の美しさを毎晩誇つて居ることであらう。



昭和六年博覽會一東 (下)

東京電氣株式會社
事業部電球課

赤 堀 彌 作

發明獎勵展覽會

本展覽會は七月一日より同月十六日まで、第一會場として東京商工獎勵館、第二會場として東京市電氣博物館に開催された。主催は東京府並に東京市で、帝國發明協會贊助、商工省後援のもとに開かれた。

此の展覽會に對して我社では、マツダ閃光電球、バイタライトランプ、ギバ太陽燈、水銀避雷器、セシウム光電管等を出品したのであるが、いづれも帝國發明協會より、優秀品として推奨せられ、推奨狀を贈られたのであつた。

魔の國展覽會

此の展覽會は横濱市のデパート松屋で、夏季の涼味を味はすために開

かれたもので、會期は七月一日より同月二十日までであつた。

主催は松屋で後援として家庭電氣普及會横濱支部の名が連ねられ、我社は東京電燈株式會社横濱支店よりの御勧誘により、此の展覽會にも参加出品することゝなつたのである。

我社の出品物は『コロラマ照明』『お釋迦様電球』『達摩電球』『吹消す電球』『太陽燈辻占』等であつた。

照明器具展覽會

七月十五日より同月二十八日まで二週間、京橋區銀座西三丁目の建築會館に於て照明器具展覽會が開催された。この展覽會は社團法人建築學會並に社團法人照明學會の共同主催

になるもので、照明器具材料の進歩改善及びその普及を圖ることが、そ

の目的とされてゐた。

我社ではその趣旨に賛意を表して次の如きものを出品したのである。

C型十四時ボールヘッド、D型十時ボールヘッド、鏡面投光器小型、同大型、節電投光器、節電反射笠K型同J型、ガラススチール、ケルドン直付式、同吊下式、ツルーチント。ユニットの十一點であつた。

冷凍に關する陳列

冷凍に關する期間陳列は七月十六日より同月三十一日まで、大阪市天王寺公園に在る大阪市立市民博物館科學室に於て開催せられた。

我社では電氣冷藏機を出品して連日實驗を行った。尙ほ此の期間中殆ど毎日實驗、講話、活動寫眞の映寫等を行なひ、觀覽者に冷凍智識の普

及につとめてゐた。

神戸電氣サイン展

神戸市に於る電氣サイン展覽會は照明知識普及委員會主催、神戸市電氣局後援のもとに、七月二十日より八月十八日まで三十日間、神戸市大倉山公園に開催せられた。

我社では此の展覽會に對して、ネツトサインを出品したのであるが、從來のものは内面着色のサインランプのみを使用したものであつたが、此の際出品せるものはネオンチューブをも併用したものであつた。該出品物は規定以外の大きさとなつたので審査は拜辭した。

廣告照明展覽會

最近廣告界の進歩は顯著なもので

殊に電燈照明の利用は新傾向であるとして、今や將に斯界に一轉期を劃きんとする勢がある。此の秋に及んで廣告の粹と照明の技とを一堂に蒐め、廣く江湖の觀覽に供して廣告界發達の一助たらしめやうと云ふ趣旨で、神戸市出品協會主催のもとに廣告照明展覽會が開催された。会場は神戸市湊川勸業館及び湊川公園で、會期は八月一日より同月二十日までであつた。照明を主とした展覽會だけあつて開場時間は他の展覽會と異なり、連日午後六時より同十時までとなつてゐた。

此の展覽會への我社の出品は、カラーライト、アースキューブ、ネオンキューブ、内面着色サイン電球、節電投光器等であつた。

秋田照明展覽會

照明に關する機械器具等を蒐集展示し照明知識の普及を圖る目的で、照明展覽會が開かれた。主催は秋田縣物産館で、同館を会場として八月三日より九日まで一週間開催されたのであつた。此の展覽會は第一部古代より現代に至る各種照明器具及び材料、第二部参考品となつた。

我社ではC型トロダヤリヤ、フアミリヤ、アースキューブ、フアクトリヤ、B型ボールヘッド、D型ボールヘッド、回轉式投光器、節電用反

射燈」型等を出品したのであつた。

上越線全通紀念博

上越線全通紀念博覽會は昨年内に於ける大規模な博覽會の一つで、その最終のものであつた。

兎に角長年の間、長岡地方の人々から全通を待ち詫びられてゐた上越線が、世界第六位全長三萬一千八百三十一呎の清水トンネルが工事期間八ヶ年工費約一千二百萬圓、延人員



上越線全通紀念博覽會我社陳列

三百五十萬圓と云ふ、莫大な數字のもとに愈々完成して、全線が開通して九月一日より同地方と東京との距離が短縮されたのであるから、同地方のお祭氣分も尤なことである。

それでこの記念事業の一つとして此の博覽會が長岡市主催のもとに、八月二十一日より九月三十日まで四十一日間開催せられたのである。会場は第一會場が長岡市中島町に、第二會場は寺泊港に設けられ、第一會場の敷地二萬三千坪の中には、出品本館、長岡市出品館、機械館、健康館等を初めとして、約三十に餘る陳

列館が建てられて、參加區域は朝鮮、臺灣、樺太、北海道、關東廳、南洋廳、三府四十縣に及び、確かに昨年内に於ける大規模な博覽會の一つとして數へらるべきものであつた。

我社の出品物は出品本館内の神奈川縣の所に陳列されたのであるが、主なる出品物はマツダランプ各種、サイモトロン各種、パイタライトランプ、ギバ太陽燈、オリオン三〇〇號受信機、積算電力計、照明器具各種であつた。

此の他我社の出品としての、ラジオ放送用の大型發振用サイモトロン整流用サイモトロン、數種が、館内J〇AK特設館内に陳列された。

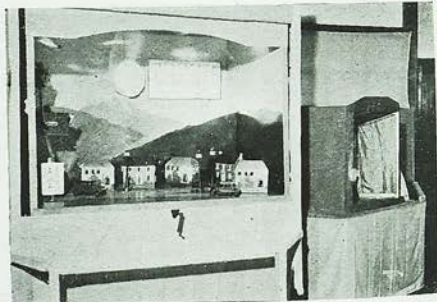
尙ほ我が社の姉妹會社である日本醫療電氣株式會社では、健康館内に特別出品をなし、レントゲン裝置、ギバ太陽燈、パイタライトランプ等の陳列をして、同市の代理店熊倉商店主熊倉進之助氏が連日館内に出張して、實驗並に説明を行つて觀覽者の視聽を集めてゐた。

教育博覽會

新潟縣教育會及び長岡市教育會の共同主催で、文部省、新潟縣、長岡市の後援のもとに、教育博覽會が九月一日より十五日まで、長岡市阪之上小學校に於て開催せられた。此の博覽會は前記の上越線全通紀念博覽

會の第三會場とも稱さるべきものであつて、此の種の催としては頗る大規模なものであつた。

我が社では電氣室に、ラジオ發振



教育博覽會我社陳列の一部

用及び整流用の大型サイモトロン、ギバ太陽燈に依る物質鑑識裝置、各種電球、受信用サイモトロン製作工程標本、マツダランプ製作工程標本、大型サイモトロン解説圖、テックス絶緣體、光電管及び水銀スイッチ應用の機器を出品し、一方J〇AKの出品室には、ラジオ受信用のサイモトロン十種を撰び、これの内部を示し且つ説明した標本を作つて陳列した。

神奈川縣文化展

神奈川縣下の生産品並に文化の現

狀を廣く江湖に紹介する目的のもとに、神奈川縣物産陳列會を兼ねた神奈川縣文化展覽會が、東京市日本橋の三越本店の四階で開催された。會期は九月十日より同月十八日までの九日間で、主催は神奈川縣商工協會であつた。

我社では主催者の希望によつて、本社全景の寫眞を撮影し、縱二尺横六尺の額面に入れて出品した。

横濱越前屋展覽會

此の展覽會は横濱市伊勢佐木町のデパート越前屋に開かれたもので、同店が主催して九月十七日より十日間開催されたのであつた。

我社は同店の希望によつて、日本古燈器變遷圖表、江戸の燈火繪巻物の七月より十二月まで、マツダランプ製作順序標本、エジソン電球より現在の瓦斯入コイルドフィラメントに至るまでの變遷を示す各種電球見本一組等を出品した。

暹羅皇帝上覽陳列

暹羅皇帝皇后兩陛下が九月廿六日亞米利加よりの御歸途、横濱に御上陸直ちに箱根へ向はせられ、同地富士屋ホテルに御宿泊遊ばされた際、同ホテル内の一室に神奈川縣下の代表的工産品を陳列して、上覽に供したのであつた。それに就いて神奈川

縣内務部よりの御勧誘を受け、弊社では各種電球、サイモトロン各種、ギバ體溫計等を陳列して、兩陛下の上覽に供したのであつた。

横濱電氣展覽會

電氣協會關東支部主催、神奈川縣横濱市、横濱商工會議所後援のもとに、十月十五日より同月廿五日まで毎日午前九時より午後五時まで、横

此の展覽會は電氣協會關東支部の總會が、開かれたのを記念して舉行せられたもので、連日頗る盛況を示し、各學校の團體觀覽等があつて、豫期以上の賑ひを呈した。我社では一般製品の陳列の他に、特に明治神宮外苑球場の百分の一の模型を作り、これに野球場照明の裝置をして出品した。



横濱電氣展我社出品

尚ほ聞く處によれば、近く明治神宮野球場の照明裝置及び横濱公園グラウンドの照明裝置が、實現するの機運に向いてゐることであるから、明治神宮外苑野球場や横濱公園グラウンドで、夜間野球試合を見ることの出来るのも近い將來であらうと確信する。

名古屋松坂屋電氣展

中京名古屋市に君臨する大デパート松坂屋では、十月廿二日より二十八日まで一週間電氣展覽會を開催した。会場は同店の六階を大半使用して、東邦電力株式會社を始め多數の出品あり頗る盛會であつた。

我社は興味本位の陳列として、吹消電球、達磨電球、お釋迦様電球、太陽燈辻古等を出品し、他の個處にはバイタライティング普及のため、その各號を陳列しマネキン嬢により演説及び説明を行つた。



松坂屋の電氣展

尚ほ本展覽會に於て特記すべきことは、開會當日畏くも、東久邇宮裕彥王殿下の台臨を仰いだことで、殿下には御興深げに御巡覽遊ばされ、弊社出品に對しては種々御下問を賜つたので、同展覽會の爲め同地出張中の筆者は、奉答申上げて身に餘る光榮に浴したのであつた。

宇都市制記念展

山口縣宇都市では同市の市制十周年記念のため、十一月一日より同月七日まで一週間「市制記念展覽會」

を開催した。
この展覧會に對して山口電氣局宇部出張所の御勧誘により、本社ではマツダランプ各種、バイタライティング、真空掃除機等を出品した。

ブラチツク展覧會

大阪學術大會に於けるブラチツク展覧會は、學術協會の主催にかゝり十月一日より同月十五日まで開催せられた。

本社ではこの展覧會に對して、テコライト製品の各種を出品陳列したのであつた。

電氣教育展覧會

電氣科學研究の旺盛なことは、電氣機器に長足の進歩を將來し、殆ど究極する所を知ることが出来ぬ現状とはなつたが、該機器の周知と是の利用上の知識に至つては、甚だ缺如されてゐるの憾がある。それで最新式の電氣機器の粹を蒐めてその周知を計り、併せて電氣知識の啓發に努めやうと云ふ趣旨で、東京市電氣局主催のもとに、十一月一日より同月三十日まで一ヶ月間、電氣教育展覧會が有樂町の東京市電氣博物館に開催された。

本社ではラジオ關係のものは、同館の常備陳列として出品されてゐるので、一般保健衛生の立場よりバイ

タライティングの各種類を一通り出品陳列した。

新潟ラヂオ展覧會

新潟市白山公園にある商工獎勵館に於てラヂオ展覧會が、十一月一日より十四日まで十四日間開催せられた。これは新潟放送局(JOQK)の開局を記念して、同地の新潟毎日新聞社の主催で、東京ラヂオ商組合後援のもとに開催せられたものであらう。



新潟ラヂオ展我社の陳列

弊社ではこの展覧會に對して、發振用のサイモトロン、受信用のサイモトロン、UY二二七、UY二二四、UX二二六の各製作工程を示した標本、オリオン三〇〇號受信機、ツバメ一號受信機等を陳列した。一方東京中央放送局では、さきに

長岡市の教育博覧會に出品した、本社製作の受信用サイモトロンのうちの十種類の内側の構造を示した標本を陳列された。

米國野球史展覧會

讀賣新聞社の招聘によつて米國メーヂャーリーグを迎へるのを記念して、同新聞社主催のもとに米國野球史展覧會が、十月二十六日より十一月三日まで東京市銀座松屋に開催された。

本社では主催者讀賣新聞社の希望により、横濱電氣展覧會に出品した明治神宮野球場夜間照明裝置の模型を出品した。

八戸電氣展覧會

青森縣八戸市の八戸電氣株式會社の主催で、同地に電氣展覧會が十一月一日より十日間開催せられた。

此の展覧會に對して主催者の同社より出品の御勧誘を受けたのであるが、折悪く適當な興味本位の出品物がなかつたので、照明知識普及の資料たるデモンストレーション・ブラスを三個出品したのであつた。

東京科學博物館

十一月二日畏くも、天皇皇后兩陛下の行幸啓を得て開會せられた文部省直轄の東京科學博物館は、我國科

學の殿堂であることは、讀者諸氏の熟知せらるゝところで、凡ゆる現代科學の粹が蒐められてゐる。

我社では此の博物館内に、我社の最近の代表的製品を集めて常備陳列がしてある。主なる出品物は、發振用、整流用、受信用のサイモトロン各種、レントゲン管球各種、電球各種、電氣時計、バイタライティング、オートラムセツト、オートレーセツト、ネオンランプ、光電管、ブラウン管等である。

エヂソン展覧會

十一月廿七日に日比谷公會堂で開かれた電聖エヂソン翁追悼會と前後して、エヂソン展覧會が銀座松屋に時事新報社主催で開催された。

我社では翁の最初に發明した所謂エヂソンランプを出品した。

牛込市電展覧會

東京市牛込區笹町にある東京市電氣局の牛込出張所では、十二月一日より同月十日までの十日間電氣展覧會を開催した。

我社では主催者の希望により、吹消電球、達摩電球、お釋迦電球、太陽燈柱占等の外、バイタライティング各種、オリオン三〇〇號受信機、ツバメ一號受信機、電氣冷蔵庫機、電氣自動洗濯機等を出品陳列した。

照 明

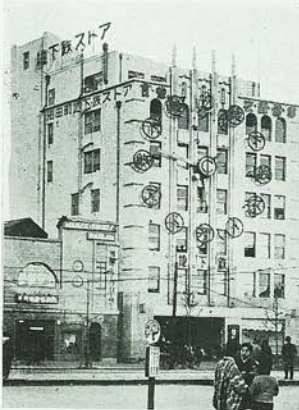
地下鐵構内食堂のネオンサイン

地下鐵上野地下道に新設されたサインであるが、寫真に見へる以外に他に二面ある。地下鐵の構内食堂の位置を直ちに知らしめるための重要なサインである。(石上)



地下鐵構内食堂のサイン

須田町地下鐵ストアの大時計



須田町地下鐵ストアの大時計

のものより稍小さいが、同じ型の大時計ネオンサインが完成し、是亦東京電氣の施工として再び茲に御紹介し得る事は、誠に名譽とし欣快とするところである。

時計の直徑四拾尺餘、一文字の圓の徑五尺三寸、秒針の全長廿一尺、分針拾三尺、時計

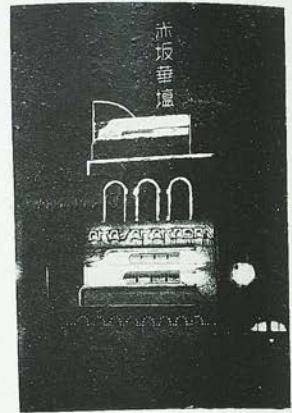
曩に地下鐵上野ストアに新設された世界最大の大時計ネオンサインに就ては既に本誌に報道したが、地下鐵延長工事進捗と共に、去る四月一日から開店の須田町ストアにも上野



拾尺。上野ストアの時計完成までは世界一と稱せられた米國ニューヨークの時計よりもまだ大きいのである。(本誌本年一月號參照)ネオン管の色は上野と同様で文字は十二時の圓が青色である外、總て赤色、秒針赤、時、分針が青、中央のマークが綠色である。堂々と邊りを壓する偉觀、正に須田町が一名物を加へた譯である。(石上)

カフェー赤坂華壇のネオンサイン

赤坂見附に異彩を放つ赤坂華壇のネオンサインは、東京電氣の設計施工に成るものであつて高さ六十尺に餘る。文字は赤色ネオンでボーダーのネオン管は赤、青、緑を巧みに配合して非常に美しい。入口眞上には電球を使つて居る。(石上)



赤坂華壇のネオン

福助足袋のネオンサイン

新宿追分角、竹屋洋品店に新設の福助足袋のネオンサイン——福助のマークは硝子行燈で直径六尺四寸、福助足袋看板は内法廿尺と云ふ大きなサインである。(石上)



福助足袋のサイン

新宿ホテルのサイン

繁華街新宿に其名を知られて居る新宿ホテルに、東京電氣に依つて施工新設せられたスマートな電氣サインを寫眞に示した。大きな



新宿ホテルのサイン

は幅二尺五寸、縦六尺の硝子看板の内部に電球を點じた両面サインである。縁は青色ネオンで作つてある。(石上)

製品

小型鏡面投光器(新發賣)

小型鏡面投光器の外観は寫眞に示す通り、一般投光器とは稍趣きを異にした體裁のよいものである。

反射面は鏡面になつて居るので反射率が非常に高く、投光器としては最も能率がよいものである。鏡面の外側は厚い銅鍍を施して鏡面を保護してある故、鏡面の剝離することは絶対にない。

金具は投射方向を左右、上下等、自由に調整し得るやうな構造になつて居る。

本投光器の配光は實測の結果に依ると、大

體一〇〇ワットの透明電球を裝置した場合に中心の光度は約一、九〇〇燭、光の開き五二度、一〇〇ワット全艶消電球を裝置した場合は、中心光度約一、六〇〇燭、光の開き七六度であつて、一般の用途としては艶消電球の方が結果がよろしい。能率は艶消電球を裝置した場合六九パーセントで、投光器としては非常に能率がよいものである。

本投光器は反射面の直径が二三種、全重量



小型鏡面投光器

約一・二五疋と云ふ極めて手輕な體裁のよいもので、配光狀態の良好な特徴と相待つて、用途の廣いものである。其の用途の數例を舉げると次の如くである。

一、建物の表面に取附けて其の表面を照明する場合

二、デパート等に於ける店内のスポットライト

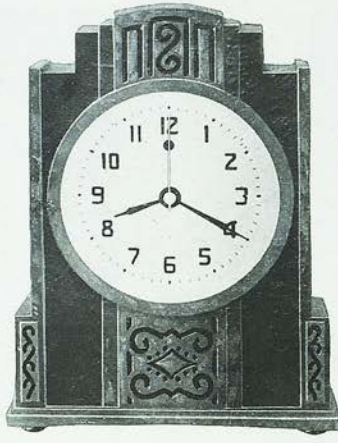
三、看板面の照明

四、庭園等に於ける局部的投光照明

五、改札口等の如く天井から床上の局部を照明する場合等

マツダ電氣時計の發賣

家庭で時計が電燈線から簡單に使用の出来る時代となつた。マツダ電氣時計は自起動式交流用で、使用法極めて簡單、注油竝に機械



マツダ電氣時計

の掃除不用、經費の僅少、時間の正確、極めて靜肅等の特長を有してゐる。(一生)

定價 拾六圓

ソーラー電氣洗濯機の發賣

從來一般家庭より國產品にして高級而も安

價で、優秀な洗濯機の出現を熱望されて居たが、今回芝浦製作所で製作の洗濯機を『ソーラー』と命名し、我社で全國一手販賣することとなつた。本機は攪拌器に會社特許の



ソーラー電氣洗濯機

クチベーターを採用し、過去三年間のソーラーの經驗に基き、幾多の改良を加へた眞に優秀な理想的家庭用洗濯機である。(一生)

定價 百九拾五圓

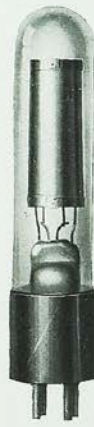
セレンニウム管(LX—1)

元素セレンニウムが光によつて其の電氣抵抗

を變ずることは、ベルツエリウスがセレンニウム元素を發見してから五六年後の一八七三年であつた。其の二三年後には測光用に使用され始めたが、光電管の躍進的進歩のために一時禍された形であつた。最近に至つて真空工業の進歩に刺激されて、再び新しい形となつて表れて來たのである。

今回本社に於て製作されたセレンニウム管は

LX—1型と云つて、其の特長とする所は暗黒時抵抗に比して照明時の抵抗極めて小、眞空中に封じてあるので動作安定、且つセレンニウムは極めて薄膜であるから、時間の遅れ小、加ふるに光電管に比して陽極電壓を加へ



セレンニウム管

る必要がなく、且つ抵抗の變化を利用するものであるから、極性を有しないと云ふ利點をもつて居る。

本社製セレンニウム管の構造は、平滑な硝子板上に特殊な塗料によつて金屬薄膜を作り、この薄膜を細長い溝によつて二つの部分に分ち、眞空中に封じて、その表面にセレンニウムを蒸發させて、極めて薄く附着せしめたものである。

用途は光電管が用ひられるところには大抵用ひられる。例へば繼電器の動作、街路又は室内照明の自動制御裝置、盜難豫防裝置、X線の濃度測定、光度測定、光の電話、トキキ、寫真電送等に用ひられる。

照明學校

三月中の參觀者

三月中の照明學校の參觀者は、主なる團體數九組その數三六五名、一般參觀者七三五名合計一、一〇〇名の多數に達した。

主なる團體參觀者

下志津陸軍飛行學校

全國金物商組合員

横濱瀧頭町青年會

田島青年會

陸軍自動車學校

東京電燈京橋營業所檢針係

東京市衛生試驗所鯉沼博士他

日本醫療電氣會社レントゲン講習會員

新しき照明と器具の講習會員

小計

一般參觀者

男爵目賀田綱美氏他

三月中參觀者合計

七三四

一、一〇〇名

雜 報

仙臺出張所の移轉

當社仙臺出張所は四月より事務所、倉庫共に左記へ移轉した。

仙臺市國分町四丁目一五九

東京電氣株式會社仙臺出張所

第四回發明博覽會

第四回發明博覽會は、社團法人帝國發明協



本館内の我社出品



第四回發明博覽會正門

會主催、商工省、東京府、東京市、東京商工會議所後援の下に、花に魁けて三月二十日から上野公園不忍池畔に於て、伏見宮博恭王殿下



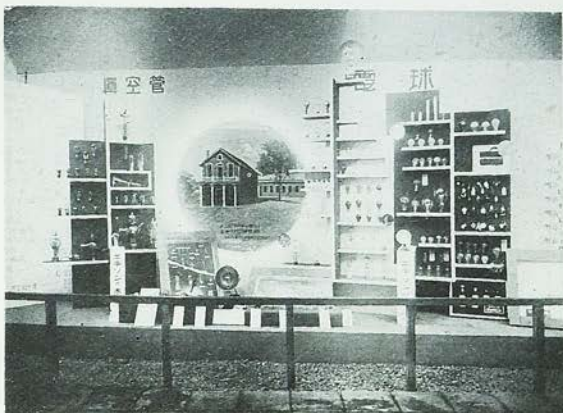
JOAK 館内の我社出品のオートレー装置

の台臨の光榮に浴し盛大に開催された。『國難打開は發明より』のモットーを、徹底させる爲めに、今日迄のあらゆる發明の結晶を展示して人心を異常に刺激した。博覽會は、本館、エヂソン館、JOAK 館、陸軍館、海軍館に分たれ、各種最近の發明が各館の特異性を十二分に發揮して人智の進歩の限りなきを物語つてゐた。我社では本館にマツダ真空管を始め、我社の努力發明にかゝる各種最近の發明品を出品し、エヂソン館には、電球製作順序及びマツダ真空管の實物製作順序の外、



JOAK 館の「鳴く牛」

我社製各種電球、真空管を陳列して、エジソン翁の功績をたゞへ、JOAK 館にはセレンニ應用の鳴く牛に人々を引き寄せ、オートトレ―應用の自動點滅裝置に觀る人をして、科學

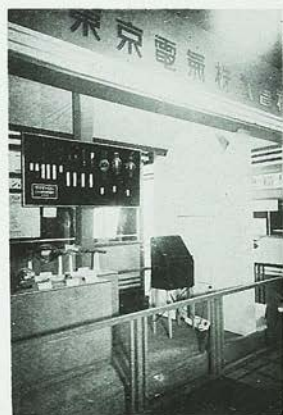


エジソン 館内の電球と真空管の陳列



エジソン 館 内部 の 照 明

の進歩の極致に三嘆せしめた。斯くして各館はそれ／＼發明品オンパレードの觀を呈し、日本人の發明が優に世界に誇るべきを認識させるに充分であつた。會期は三月二十日から



真空管の陳列



金澤産業博の我社の出品

五月十日迄五十二日間、毎日多數の見物人で不忍池畔は非常な賑いを呈した。(I生)

産業と觀光の大博覽會

花の都森の都として四時の景趣に富む金澤市に於ては、市主催の下に陽春四月十二日より新緑の初夏六月五日まで五十五日間に互り、産業と觀光の大博覽會が開催され、廣く各地の物産を網羅して内外産業の現状を一眸の下に展示し、日本海沿岸地方の觀光資料を縮圖化して鳥瞰的に紹介し、以つて産業の進

展に資すると同時に、観光の便に供する目的で、全國の觀客を吸收して居る。

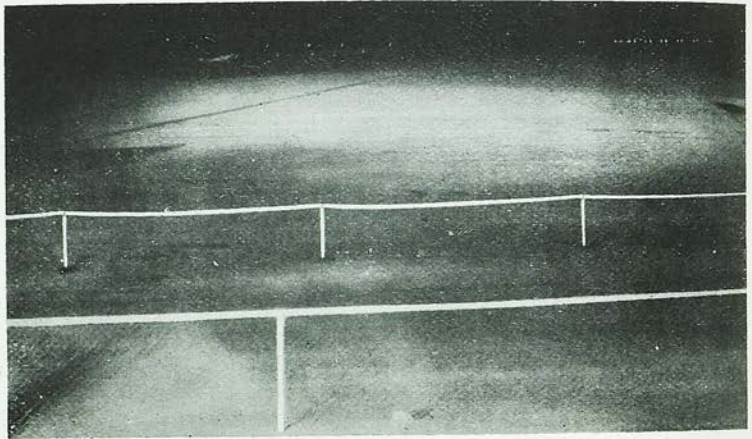
會場は出羽町練兵場内を第一會場とし、金澤城内舊本丸を第二會場として總經費六十八萬六千餘圓を投じ、本館及び各特設館の建築工事は三萬五千有餘坪と稱せられ、内容の充實と相俟つて地方博覽會史上稀に見る豪壯偉大な博覽會である。

當社に於ても此の舉を賛し、第一會場本館の裏門近くに寫眞の如き裝飾で、陳列した商品はマツダランプ、マツダ真空管を中心として、照明器具、電氣時計、積算電力計、X線管球、バイタライトランプ等、裝飾の美と看守の美人とで人氣を集めて居る。(S生)

海外

米國第一の着陸場照明

米國デトロイト市の飛行場には光柱光度一〇、〇〇〇、〇〇〇燭と稱せられる投光器五〇個を用ひて夜間飛行に便にして居るが、開閉器の配置や光柱の方向などに細心の注意が拂はれて居るため、バイロットは風の方向の如何に拘らず、輝光源を正面に受けて著陸す



米國第一の稱あるデトロイト飛行場の照明

ることのない様に出來て居るため、米國第一の稱を擅にして居る。

飛行場はL字型をなして居るため、溢光照明の最も適當な形を決定するに困難を感じたが、大體寫眞で示す如く投光器を分布させる方式を採つた。投光器の硝子レンズはブリズ

ボール・タバリンの照明

ム型を用ひ、垂直方向には光帯の幅は上下一・五度以内とし水平方向には四〇度又は八〇度に擴がる様にしてある。四〇度のレンズを用ひた光柱は二、〇〇〇呎の距離に於て幅八五〇呎、照度一・五ルクス以上を有つて居る。

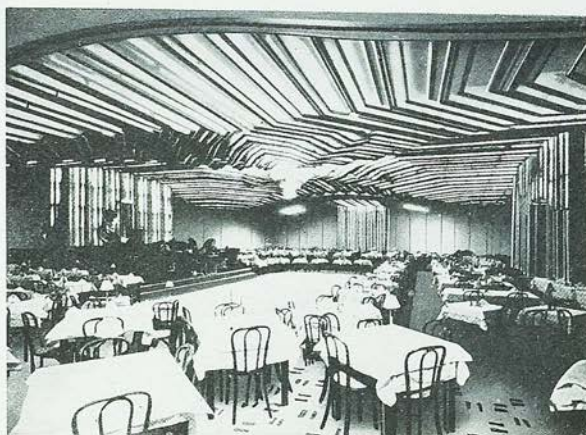
ボール・タバリンは桑港に出來たキャバレ



ボール・タバリンの外廓

ーであるが、其外廓は寫眞に示す如く歐洲大陸の最近の様式を採つて居るに對し、内部は

獨創的な光の利用のためから、建築上に技巧を加へ、金屬板の利用によつて金屬板製造者に、將來建築方面に進出し得る道あることを示唆して居る。



ボール・タパリンの食堂照明

外面に用ひたステインド硝子板はルーバーからアンバーへと着色され、夜間内部からの半間接の光によつて、太陽の輝きの如くに見えるのである。

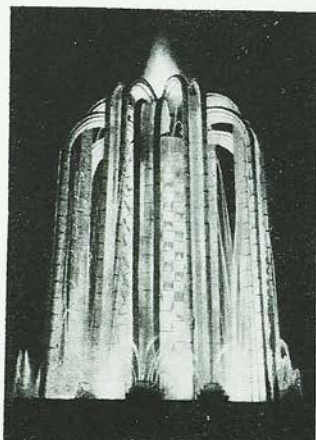
食堂は其廣い一面にモダーニズムが表徴され、室に入つた時の感じは、壁や天井が鏡張

りではないかとすら怪しむばかりで、其天井には大小の樋十四本がつらねられ、大樋には一五〇ワット電球が一〇個、小樋には一〇〇ワット電球四個が入れてある。是等の電球は赤、青、アンバー及び透明の四種から成り、色彩照明の美しさを見せて居る。

此建物の電燈負荷は九一・六キロ、内五七・六キロは天井燈に費されて居る。

光りの噴水

昨年巴里で開かれた佛國殖民博覽會には裝飾照明上見るべきものが多かつたが、寫眞の



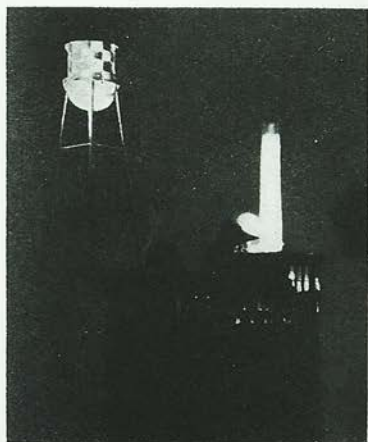
巴里の光りの噴水

電照噴水は竹を象徴し、之に明るい褐色の光を利用したものである。此噴水は高さ一七米、基部の徑一六米、其主要照明は基部の水面に取附けられた投光器により、又中央の軸にはニッケル反射器附の六〇ワット管型電球

七五〇個が隠されて、光と陰影との對照を美しくして居る。尙使用電球は一、〇〇〇ワット五二個、二五〇ワット四八個、二五ワット一、六〇〇個及び上記の六〇ワット七五〇個で合計一五〇キロに上るが、以上の外に電力を要するものは一三六馬力のポンプ二臺（一〇〇キロ）が用ひられて居る。

溢光照明によつて航空を便にする

米國コンネクチカット州東ハートフォード



航空障碍物に照明

のブラット・ホキットニー航空機會社の十五萬ガロン容量の水槽は地上からの高さ一九二呎、又汽罐場の煙突は屋上一〇〇呎に達し、何れも航空者に邪魔になるので、これを幾分でも防止するため今回一、五〇〇ワットの投

光器七個を用ひて溢光照明を施した。

水槽の照明には寫眞の左方に見へる事務所屋上に二個、汽罐場屋上に一個、夫々水槽から約一六五呎の距離に投光器を取附けた。煙突の方は地上に二個、汽罐場屋上に二個といふやうに配置して、各投光器の間隔は約一〇〇呎とした。

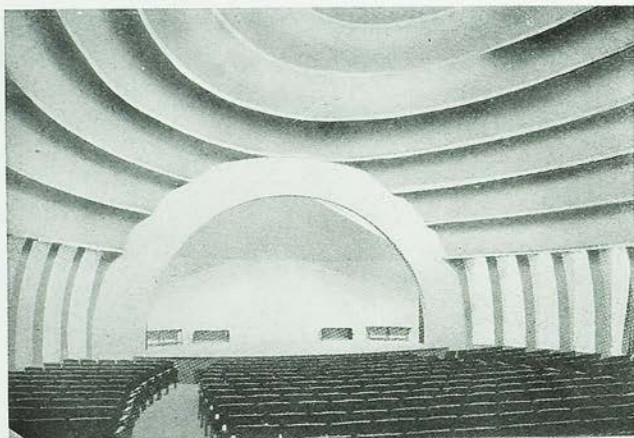
社會學研究所の新講堂

此の研究所の建築はニューヨーク市の西十二丁目にあつて、床から天井まで内外共に建築竝に設計上に革新的な試みが加へられて居る。此の新講堂の状態は寫眞で見らるゝ通りであつて楕圓の講堂とも稱せられ、五五〇人の座席がある。此の建物では梁が見へないし、注意を惹くやうな建築裝飾も見當らない。唯一の裝飾としては柔かな擴散された照明が用ひられて居る。

此の講堂は奥行六〇呎で、最大の幅員は五四呎、其の一方の端が演壇になつて居つて、其の奥行は二三呎になつて居る。天井の最大の高さは二七呎で、八つの同心をなす楕圓から形成されて居る。此の天井は灰色をした防音材料が用ひてあり、側壁は灰色に仕上られ床は赤煉瓦が用ひられ、其の上に濃い胡桃色

の上敷が敷かれて居る。ステージは床が黒く薄い色にぬられた木の背景になつて居り、カーテンとしては長いシャッターが用ひられて居る。

照明はカーチス會社製のXレー反射笠にマツダ晝光電球を用ひ、中央の楕圓の端のまわ



紐育社會學研究所の新講堂の内部

りに一六呎の距離をおいて取附られて居る。中央の楕圓には一〇〇ワットが二〇個、第二の楕圓には七五ワットが三二個、第三の楕圓

には四〇ワットが四〇個、第四の楕圓には四〇ワットが四八個取附けられてある。

ミネアポリスの街路

照明祭

丁度五十年前米國ミネアポリスでは、最初の街路照明として七個の白熱孤燈が施設されたが、この街路照明開設五十年を祝賀するた



ミネアポリスの照明祭

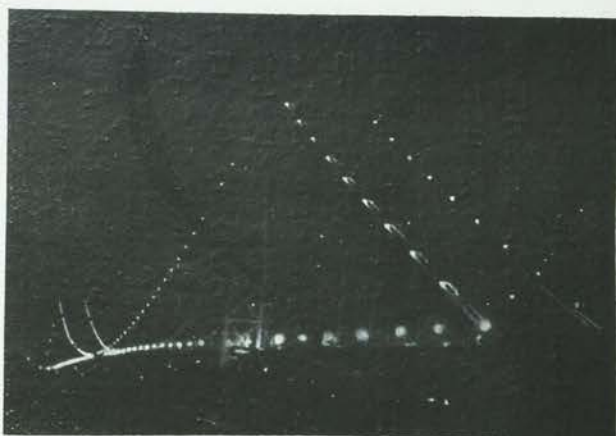
め光度二一、〇〇〇、〇〇〇燭の探照燈七臺を取付け、更に永久施設として多色溢光照明装置を置き、之で色光照明を行つた。

二電燈會社がハドソン

橋を照明する

紐育市とフォート・リーとを繋ぐジョージワシントン橋は、之を照明するためニュージャシー州公共電氣瓦斯會社及び紐育合同電燈會社の二社が、各其半分だけを分擔して配電

することになった。之に用ひられる電球は五



紐育市ワシントン橋の照明

〇〇ワット二三〇個で、之を九〇呎おきに取
附けられてある。

奥地利議事堂の溢光照明

昨年六月中旬から行はれた奥地利の首都維
納の祝祭には、國會議事堂が美々しく溢光さ
れたが、使用電力は五四キロであつた。寫眞
の中、議事堂の後方に見えるのは同市の公會
堂である。これにも溢光照明が施されて居る。



奥地利維納の祝祭日の溢光照明

のは寫眞で見られる通りである。

食堂照明の新様式

寫眞は加奈陀トロン市にあるイトン百貨



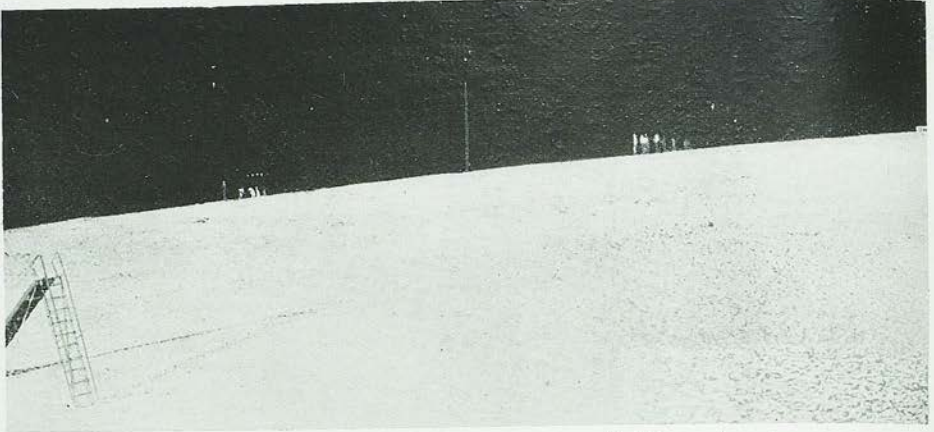
イトン百貨店食堂の照明

貨店の食堂であるが、建築化照明の好例とし
て茲に掲載する。主照明はドーム狀の天井に
段々についた四つの圓形溝に反射器を取附け
其中に一、〇二四個の二五ワット電球を置い
たものにより、天井の中央には尙碧綠色の硝
子で出来たペンダント器具に一〇〇ワットを
取附けて居る。

水際から二五〇呎の水面

で新聞が讀める

米國ロチエスターのオンタリア海濱公園プ



米國ロチエスターのオンタリア海濱のプール

ールは昨年七月四日開業したもので、収容定

員七、五〇〇人を有し、此外に暑い日には七〇、〇〇〇人も来遊者があるといふが、夜間照明を行ふため高さ九〇呎の鐵塔三基を三三〇呎隔きにたて、之に夫々二三個、二三個、一八個の一、五〇〇ワット投光器に徑二〇呎のレンズを使用して取附け、合計六四個の投光器で水面を照らし、黄昏時以上の明るさを水面にあたへ、水際から二五〇呎の地點で新聞が容易に讀め、三〇〇呎先きでも一〇〇呎離れて居る人の顔を見分け得る。然も其光源は視界より遙かに高いため、水泳者に眩暈を感じさせることは少い。

通行者によつて點減さ

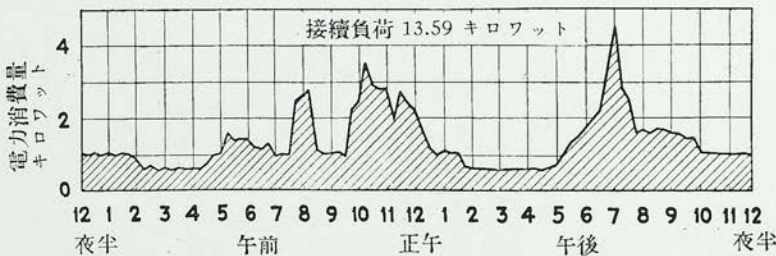
れる飾窓照明

巴里の或る商店では飾窓の照明を光電管によつて制御し、それを舗道側に向けてあるため、通行人がその前を通ると急に飾窓の電燈が點くといふ工合になつて、通行人も驚き且つ注意するので、店の印象を深くすることに大いに役立つて居るといふ。

全電化した家庭の

一日中の負荷狀態

一三・五九キロワットの負荷をもつ全電化



タールが六二五ワット、ワツフルアイロンが六六〇ワット、アイロンが五八〇ワット、電気洗濯機が三四〇ワット、電気冷蔵庫が二六〇ワットで、四月二十一日から五月一日までの間には、一、二九八キロワット時が用ひられた。消費電力の一五分間の最高は四・五キロワット、負荷率は二七・八パーセントで、此の家屋は紐育中央ハ

ドソン瓦斯電氣會社の供給區域内にある。

された家庭の一九三一年の四月二十二日の一日中の負荷狀態は次の如くであつた。此の家庭ではレンジが七、三〇〇ワット、電氣溫水器が二キロワット、アイロナーが一二〇〇ワット、トースターとスベーターが一二〇〇ワット、アイロナーが六二五ワット、ワツフルアイロンが六六〇ワット、アイロンが五八〇ワット、電気洗濯機が三四〇ワット、電気冷蔵庫が二六〇ワットで、四月二十一日から五月一日までの間には、一、二九八キロワット時が用ひられた。消費電力の一五分間の最高は四・五キロワット、負荷率は二七・八パーセントで、此の家屋は紐育中央ハ

土産物の九官鳥

藤澤清造

一

「お早よう。お早よう。」

兩側は東西折衷風な建築。これが櫛や枳殻の生垣。でなければ、板塀や煉瓦塀などでもつて取圍まれてゐた。此の一種の文化町を、吉村が歩いてくると、何處からだか、かうした聲音がふと彼の耳についた。だから彼は、よく少年時代にし合ふ惡戯中の一種である、耳を引張られたやうに、聴覺を聲音のした方へ持つていつた。

と彼が現在歩いてゐる家の右隣りになる、枳殻の生垣のうちに立つてゐた、東京工科大学教授、工學博士野田謙三の令嬢咲子と彼の視線が、そこで以てバツタリ合した。その強烈さは、二人の間で、火花を散らさないのが不思議なくらゐるだつた。が此の時だつた。ピンク色のワンピースを身につけた彼女がいつた。――

「お早ようございます。」

「お早ようございます。」

彼女がしてくれた朝の挨拶に對して、彼はかう酬ひた。そして、かう酬ひながら彼は思つた。

「唯だらう。今のさつき、『お早よう。お早よう。』と朝の挨拶をしてくれたのは。」

だけれど、幾ら思ひめぐらしても、其の正體は、つひに分らなかつた。其處で彼は、彼女に聞いてみた。

「咲子さんでしたか。今し方、『お早よう。お早よう。』と言つたのは？」

此の時彼女は、黙つた儘、彼女の親達が意識しながら材料をえらび、克明に植へつけたやうな齒をみせた。と彼の頭へ、ゆくりなく、彼女と反對の齒の持めしである、彼のワイフの事が映つた。だけれど其の時の彼は、彼のワイフの齒などの上に、こころを留めてゐるタイムを持つて居なかつた。それどころか、彼の氣持は、今のさつき耳にした、メヅ・ソブラノの事でもつて一杯だつた。そして、此のトーンや其のニュウアンスが、何としても、彼をして其の

持主を彼女に決定せようとした。が一抹其の間に疑問があつたとすれば、其の詞が、餘りにも粗野で、所詮ガアルが、ミスターに呼びかけ得る性質のそれになかつた事だつた。と折も折、其處へ彼に取つて、疑問の主である、メヅ・ソブラノが聞えた。――

「お早よう。お早よう。」と言つて。

「あれです。あの聲の持ぬしは誰方でせう。」

「あれはね、新吉と言ふ、九官鳥なんですよ。」

「サンキウウ。それでやつと分りました。ですけど、昨日まで、ミスタ新吉は、お宅にゐませんでしたね」

「ええ、さうなんです。それを昨日の夕方、上海から歸つてらした佐伯の叔母さん、佐伯の叔母さんが康子へおみやにくだすつたんですのよ。」

かう言ひながら、ノウズの心持低いのが疵だけれど、其のスタイルと言ひ、其のスタイルの上に湛えられて居る、チャアミング其のもののやうな、眼を咲子は一寸向ふ向きにした。

此の時彼は、彼の舌へ、はけしい痙攣を感じた者のやうにして居た。と其處へ彼女のことばが打續けられた。――

「ミスタ新吉はね。あれなんですのよ。チャイナア・ボエトリイもやりますのよ。『お早よう。今日は。』の合ひの手にね。――チャイナア・ボエトリイの歌詞は、あたし達に、ちつとも分りませんわ。ですけど其處にあるトーン、ニューアンス。つまり其處にあるメロディと來たら、それや素的なんですよ。」とかう言ふと彼女は、彼

女の持つてゐる癖の一つである、右手でもつて指環を壓する事。それを試みた。かと思ふと、彼女はまた後をつゞけた。

二

「あれなんですの。それは、ピン止めにされた、あの胡蝶のやうに凝と耳をすましてますと、獨りでにあたしのハートが、長い間命にかけて待ちわびてゐた、中へは一杯、此の世ながらの寶石の秘められてゐる、ゴウルドボックス。周圍に打たれてる鉦といふ鉦は、残らずブラチナなんですの。其のボックスを、あのマンキイが、彼女のチャイルドを抱きしめてゐるやうにしながら、夕霧でもつて、咫尺もなほ分らないやうになつてゐる、それはそれは深い、谷底へ落ちこんで行くやうな感じがしますのよ。――あたしそう思ひますわ。此のボエトリイのヒロオとヒロインは、屹度命と命とでもつて、固く結びあつて居た仲なのよ。それが突然襲來したあの颶風のやうな、ある不合理な事情がさし迫つたのでせう。ですから、彼と彼女とは、幾ら激動しても、もう涙も出なくなつた互の眼を見交し、哀しい最後の思ひ出に、しつかり掛けた錠前のやうに、互の手と手をにぎり合つて靜かにデッドした時のやうな感じがしますのよ。」

言ひをはると、彼女は、黒水晶のやうなアイズに、白露を點じたやうな輝きを見せた。これが彼の視線にはひると、卽座に彼のハートも、重石の下に壓されて了つた。だから彼は、暫く噁になつてゐた。

「こんな早くから、何方へ。――まさか今日は、會社行ぢやないで

せう。何故つて、今日はサンデーですもの。」

「あれです。僕、今日は、社の重役のところへ行くんです。——昨日社がひけて、家へ歸らうとしてたんです。と其處へ社の重役が僕を呼んで、『君は歸りがけ、銀座の伊東屋へ廻つて、レターペエバを買つてくれないか。こいつを明日、明日の朝僕んちへ届けてくれないか。』と言ふのです。『承知しました。』——重役の命令ですから、ノオもイエスもあります。それで今日はこれから、重役のところへ、彼の命令を果しに行くんです。』

「御苦勞さまね。でも、お天氣が好くて何よりですわ。』

「まあ、それだけ、せめてもの拾ひ物ですがね。』

此の時初めて吉村の唇へ、かすかな笑ひがのほつた。だけれど是は天候についての、會心さから來て居たのではなかつた。事實はそれと、全然關係のない、彼が雇はれて居る茨城石炭會社の重役、橋田が彼等に、少くとも此の場合は、彼に對して探つた不遜横暴な態度についての無限の反感さが、此の時一個の微笑となつて、彼の唇へのほつたのだつた。そして暫くの間だつたけれど、彼の唇へ此の反感の生んだ微笑をうかべて居ると、又彼には、獨りで我が國におけるブチブールの尤たる野田家、その長女である彼女の身のうへが、頻りに美やまれもした。だけれど、さうかと言つて、此の場合、其の反感をやるに足りる、是といふ復讐方法は見出せなかつた。其處で彼は、『ゲッドバイ。』と言つて、年齢にも不似合ひな、石のやうな態度でもつて挨拶をした。

三

「ええ、行つてらつしやい。——彼女は、彼の挨拶をうけるとかう言つて酬ひた。酬ひたかと思ふと、『吉村さん、あなた御如才もありますまいけど、お歸りに、あたしにもおみやを買つてきて頂戴。さうさう。佐伯の叔母さんが、康子に九官鳥を持つて來てくださつたやうにね。』と、彼女は、いはば彼女一流のユウモアを附足した。彼女は、片手に燃えたつ枳殻の新芽をいぢりながら、彼のはうに向けた眼差は、またも滴らんばかりの微笑を湛へて。

「承知しました。屹度あなたのお好きな、あのリリー香水を買ひませう。あれはピノオでしたね。』

彼も此の時冗談に、如才なくかう言つて請合つた。

「まあ吉村さんて、何時もお世辭の好いこと。だけれどあたし止してよ。何故つて、あなたのマダムさんに申譯ありませんもの。さう言ふこと、あなたにおねだりしてわ。』

「ではそうしませう。僕、あなたの御意のままにしなきゃならない人間なんですから。』

「まあ憎らしい人。』と言つてからだつた。

「今日は直ぐとお歸り?」

「ええ、今日は、レターペエバを先方の玄関におくと、直ぐと歸ります。今日は、お使ひ上手なドッグのやうに、御用が済むと、元來た路を真ツつぐに歸ります。』

「なら今日あたしの家へ、今日あなた、ティを召しあがりに入らう

しやらない？」

「サンキユウ。ヴキリマツチ。是非さうさせて頂きます。」

彼が頭の上の薄鼠のソフトを取つて、かうちよつと小腰をかめると、彼女は彼の方へチャアミング其のもののやうな、一瞥を投げながら言つた。

「これは眞實よ。あれよ。今日はね。康子が佐伯の叔母さんから頂戴したミス新吉のために、康子がマスターになつて、黄昏時から、あたし達が集つて、デインナアをする事になつてゐるんですよ。ですから、今日の黄昏時、あなたは、あなたのマダムさん御同伴でもつて、是非入つてくださいましな。」と言つて、一寸ボオズを置いてから後を言ひつづけた。——「あの、此の世での悲痛と、此の世での寂寞さ其のもののやうな、ミス新吉がソロオする、チャイナア・ボエトリイを聞いてやつてくだらないこと。あたしタイムも、

早い話が、今此處になんらの苦勞らしい苦勞もしたことのない一人の學生があつて、其の學生は醫學を修業するとします。そして、大學を卒へた時の成績も優等なら、卒業後の實地研究も驚くほど眞摯熱心だとします。そして、其の人はやがて自分自身で開業することになるとします。ところで、此の人はさう云つた風に、専門の知識手腕は、眞に驚くべきものがあつても、根が苦勞らしい苦勞をしてゐないだけに、本當の意味において、患者を待つつの道を辨へてゐません。ですから此の人は、多くの場合自分の診察する患者と

彼のソロオを聞いてやるには、黄昏時こそ、一番ふさはしいと思ひますわ。」

「サンキユウ。ヴキリマツチ。では、是非伺はせて頂きます。是非マイワイフを同伴して、さうさせて頂きます。屹度、センチメンタアなマイワイフは、ミス新吉のソロオするボエトリイを耳にする、彼女は彼女の胸をかき抱き、彼女の眼からは涙を流すことでせう。」と言つてからだつた。彼の頭の中を、彼と彼女との間には、現在のやう結婚同様するまでに、どんなに涙と涙を吸ひあひ、どんなに血と血を吐きあつたかが、電のやうになつて、縦横無盡に馳驅した。がそれに彼はここを留めながら言つた。——「グッドバイ。ぢや行つて來ます。今日は、僕の會社の重役のためでなく、あなた達の愛してらつしやる、ミス新吉のために、一ツ走り行つてきます。」

云ふ患者は、皆悉く財産家か其處の子弟に限られてゐて、一切貧乏人は相手にしないと云ふことになつてきます。つまり、苦勞らしい苦勞をしてない人の弊として、貧乏人は一切病氣には罹らないものだ云つた風な態度を取ることになつてきます。それを僕が云ふんです。そして、これはまた、非常にむづかしい問題です。と云ふのは、學問をする人と云ふ者は、比較的容易に得られもすれば作ることも出来るものですが、一方苦勞をしたがる人間、苦勞によつて自分自身を磨かうと云ふ人間はさうはゐないからです。ゐないしまた

これはゐても、さうたやすく、學識のある人を作るやうに作る譯にはいかないからです。ですから今のところは皆諺に云ふ『論語讀みの論語知らず』で、學問があつても、本當の人間らしい人間がゐないんです。——『苦勞は人間を作る基である。』若しくは、『苦勞をしない人間は、本當の人間ではない。僕はかう云ひたいと思ふんです。』と云つた時には、私は初めて、とにかく其の場でしたなければならぬことを、すつかりしてしまつたと云ふ安心を得て來た。

藤澤清造作——根津權現裏より

編輯後記に代へて

午後休みに散歩をすると雲雀の聲が聞かれた。此の川崎も、次第に都會化して來たために食後一時間で往復出来る位の處では、あのなつかしい聲を聞くことが出来なくなつた。

野川に沿ふて歩を進めれば野ばらがほの白く、高い匂りを放つて咲きほこつてをるのを見るのも、誠に少なくなつてしまつた。しかしまだ東京の市中よりはよほどゆつたりした處はある。

東京に出て目につくのは、あの忙しい人々を見守つて居るやうに見える街路樹だ。騒音とよごれた空氣のうちに、五月の陽差しをうけて若葉がてりはへて居る。いかにも男々しく天を仰いで生長を樂んで居るやうに見へて氣持がよい。緑は生長のしるしだ。尊い生命のシンボルだ。緑を見て居れば飽きること知らない。

昭和七年五月十五日印刷 定價 二部三十五錢
昭和七年五月二十日發行 一ケ年四圓
(郵送料共)

東京電氣株式會社

編輯兼 米山清三

發行人 守岡功

印刷所 東京市本所區橋一丁目廿七ノ二

印刷所 凸版印刷本所分工場
神奈川縣川崎市堀川町七二

發行所 東京電氣株式會社

電話 大崎 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
新橋 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
飯田 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五

緑は人生に譬へれば青年だ。希望に満ちあふれて居る青春の笑顔を思ひ起させる。

今夏北米ロセアンゼルスで行はれる第一〇回オリンピックの豫選がはじまつた。世界的の此の競技に出来るだけ多くの選手を送り、出来るだけ公明正大に戦ひたい。

此の大會で幾度君ヶ代が奏せられ、日章旗を競技場々頭高く翻しうるか。日本の青年の意氣の發揚を八千萬の同胞と共に望んでやまない。

四月十四日 畏くも 賀陽宮恒憲王殿下には産業獎勵の思召から、我が川崎本社に台臨遊ばされた。各工場、研究所、照明學校等を御視察遊ばされ給ふたが、殊に近來長足の進歩發達を見た無線工業の設備については、最も御興味を持たせられた御模様拜せられたと洩れ承る。

本誌巻頭の『建築・コンボジション・照明』は前

出張所

東京	事務所 東京市芝區芝口一ノ四(新橋)	電話 銀座 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
大阪	銀座支店 東京市銀座區銀座五ノ二	電話 銀座 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
京都	新橋支店 東京市本所區新橋三ノ二	電話 新橋 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
金澤	大坂市西區大坂六ノ二	電話 大坂 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
廣島	京都府下京區四條通御旅町四ノ三	電話 京都 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
名古屋	金澤市片一町四ノ四	電話 金澤 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
仙臺	名古屋市中區新御町六ノ四	電話 名古屋 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
	住友ビル 名古屋市中區新御町六ノ四	電話 住友 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
	仙臺市 仙臺市 仙臺市 仙臺市 仙臺市	電話 仙臺 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五

號に引續き、東京高等工藝學校の藏田周忠先生の照明學校に於ける御講演であつて、新しい建築に於てはネセスタイが即ち美であると云ふ經濟上の觀點からして、コンボジションが如何に建築其の他造形藝術に必要であるかをとかれて居る。特に現在の照明が此のコンボジションを重要視して居らないために、如何に効果が減殺されて居るかとの御説には敬服の外はない。

東京電燈會社笹森建三氏の『從量電燈一個當り平均ワット數に關する調査』は有益な資料である。其の他當社木村氏の『特殊電球に就て』、土居氏の『夜のスポーツ』、關氏の『コロラマ照明と電球』、赤堀氏の『昭和六年博覽會一束』共に夫々の方面で御參考になることと思ふ。

土産物の九官鳥をものされた藤澤清造氏は、此の原稿を書かれて間もなく腦を病まれ、本年二月逝去された。ゆかりある最後の遺稿である。

札幌	札幌市南二條通西四ノ八	電話 札幌 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
小倉	小倉市 小倉市 小倉市 小倉市 小倉市	電話 小倉 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
台北	臺北市 臺北市 臺北市 臺北市 臺北市	電話 台北 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
京城	日本生命保險會社ビル 九ノ一	電話 京城 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
大連	大連市 大連市 大連市 大連市 大連市	電話 大連 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
哈爾濱	哈爾濱市 哈爾濱市 哈爾濱市 哈爾濱市 哈爾濱市	電話 哈爾濱 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五
上海	上海 上海 上海 上海 上海	電話 上海 二五八二 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五